

第8号（1）様式

外交・安全保障調査研究事業費補助金  
補助事業実績報告書

※本報告書のほか、事業成果をアピールする資料（パワーポイントや動画等自由書式。最大3枚/3分程度）を提出すること。

（※当該資料は、単なる活動報告にしないこと。事業の新規性、研究成果によって得られた新たな知見及びそれに基づく政府へのアウトプット・提言等、事業成果について記載すること。）

|                       |                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 基本情報               |                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業者名 東京大学先端科学技術研究センター |                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業区分・テーマ              | ※事業区分（発展型総合事業・総合事業・調査研究事業）及びテーマを記載。<br>総合事業「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」                                                                                                                                                   |
| 事業名及び事業概要             | ※事業計画書の該当部分を転載。<br>内と外から自由・民主主義が揺るがされる中で、自由・民主主義の意義を再検討し、選択肢として「選び直す」ために、信頼性の高い情報を収集・分析し、公開・発信していくプラットフォームを構築する。自由・民主主義諸国の体制と政策の実態と可能性を裏付けるデータを歴史学と実証政治学の双方から導出・検証し、『インド太平洋の自由と民主主義』年報として配信し自由・民主主義秩序を支える日本外交の取り組みを支援する。 |
| 事業実施期間                | ※下記の期間から1つを選択し「○」を記入<br>( ) 1年間 ( 年度)<br>( ) 2年間 ( 年度～ 年度) (うち 年目)<br>(○) 3年間 (令和5年度～8年度) (うち 2 年目)                                                                                                                      |

## 2 事業の成果（アウトカム）

評価要綱3の項目につき、以下①、②の自己評価を記載すること（分量は自由）。

（※ 活動実績の詳細や定量的実績は下記「3－1」～「4－2」の欄に記載すること。）

① どのように取り組み、どのような成果があったか（工夫を凝らした点、前年度の事業から改善した点を含む）。

② どの部分につき進展・成果が不十分であったか。その原因、次年度での改善方法。

### （1）補助事業の成果

（基礎的情報収集・調査研究（外交に資する政策志向の研究とし、政策提言を含む。）

- 他の類似事業と比べて新規性があったか。研究成果により新たな知見が得られたか。また、外交に資する政策志向の研究がなされたか。

#### ①新規的な手法を積極的に取り入れた情報収集・調査研究

##### 激動する世界情勢に即応した調査研究・対外発信

本事業は、自由・民主主義陣営が直面する危機や課題の特定と、困難を乗り越えて自由・民主主義体制を再生・再活性化させるための理論的・実践的試みである。中心となる調査研究の課題は自由・民主主義体制の中心国家である米国や欧州であると共に、自由・民主主義の進展と揺らぎを先鋭的に表出する周辺部の戦略的な重要国・地域にも目を向けていく。以下の2つの研究会は、自由・民主主義体制における中心的な国家である、米国と、先鋭的な縁編部を含む欧州諸国の情勢を機動的に調査・分析し、活発な対外発信を展開してきた。

研究会「自由・民主主義の動揺と再編」は、2024年に実施されたアメリカ大統領選挙に焦点を当てた活動を行った。社会科学的な世論調査やサーヴェイ実験の手法を用いた実証的な研究と共に、現役新聞記者からのジャーナリズム的な手法による現地調査やそのルポルタージュ、動画を通じた、若手研究者による選挙の仕組みの解説、さらには、ポータルサイトを通じた、選挙後の動静についての情報を集約する仕組みの構築など、多岐にわたる調査・発信を展開した。

研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」は、発展総合事業「国際理念と秩序の潮流：日本の安全保障戦略の課題」の研究会「『西側の論理』の検証と再構築」との合同研究会を連続して開催して西欧の中枢での自由・民主主義の推進や揺らぎに関する主要な動向を押さえると共に、ポーランドやエストニア、モルドヴァなど、中・東欧やバルト海沿岸諸国・バルカン諸国の内政・外交の最新の動向を地域専門家と域外を対象とした研究者の双方の視点を取り込

み、大使館等の実務家との連携を深めながら、実地調査・政策協議を現地機関・専門家と活発に行い、「欧州」全体での動静を包括的に分析した。これらの調査により、中・東欧、バルカン諸国が持つ、国際的な脅威や懸念事項に対する認識の温度差が明らかとなった。同研究会においても、ジャーナリズム出身の研究者や現役の通信社編集者による現状分析を行ったほか、インド太平洋地域の AUKUS の動向などにも目を配った。

さらに、研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」では、東南アジアの主要国であるタイの民主化の進展を比較政治学と地域研究の手法で調査研究し、民主化活動を主導し議会で主要勢力となった政党の政治家（ピター前進党党首等）及びそれを理論的に支援する政治学者との関係構築によって、長期的に日本の対タイ外交の「プラン B」をシンクタンクの立場から提案し外務省等に提案・橋渡しすると共に、ピチャイ商務相をはじめとしたタイの現政権の現職閣僚等との政策対話も進めている。

これらにより、自由民主主義体制の中心国を周縁・新興国と共に遺漏なく対象とし、政権側と野党・議会勢力の双方に関係構築を行い、社会科学とジャーナリズムの手法を最先端の専門家との協力によって取り入れて、シンクタンクによる調査研究の幅を対象においても手法においても大きく広げた。

これらの研究会は研究者による自律的な企画と推進を行なっているが、政策的インプリケーションを強く意識したものであり、戦略的な選択によるバルト海沿岸から中東欧に至る「三海域イニシアティブ」と重なる地域に重点を置いた渡航と情報発信を行っており、現地の大使館・駐箚大使との密接な連絡と協力関係を築いている。また東南アジア等の諸国の与野党の指導層の来日に際しては、公開の講演やセミナーに加えて、外務省の担当地域局長との懇談の場を設け、日本の外交チャンネルの多元化を推進する 2 トラック／1.5 トラックの協議の場を創出した。

### 日本の安全保障体制の原点を探る歴史的研究

本事業の調査研究は、日本外交史の若手・中堅の最有力の研究者を幅広く糾合した研究会・ユニットの複数の設置により、歴史研究の資料的・実証的支えを得て強化されている。研究会「戦後日本外交の歴史的研究」は、日米関係を中心に、戦後日本の政治・外交の歴史的研究を進めることで、自由・民主主義体制の中軸としての役割を担う、日米同盟の実態を内外に示すことを目標としている。2024 年度は、政治史研究の側面からこの目標を推進するサブユニット「戦後日本政治史検証プロジェクト」を立ち上げ、外交史研究を行う同研究会とで、相互に補完・協働しあう体制を整えた。

まず、国内外で大規模な資料調査を行い、これらの調査を基礎として、日本の安全保障体制を構

成している、法体系（憲法やその解釈）・同盟（日米安保条約やその附属協定）・沖縄（同地にある在日米軍基地の役割と問題）といった要素の連関関係を考察する研究会合を立て続けに実施し、その成果の一部を論考のかたちで発表した。さらに、日米関係のもう一方の側、米国の対日政策を検討する研究会合も実施した。25年1月には、米国の同盟政策（日米同盟も含む）を、理論・歴史の両面から解き明かすため、発展総合事業「国際理念と秩序の潮流：日本の安全保障戦略の課題」の研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」や同サブユニット「国際政治とリーダーシップ」などと合同で、研究メンバーの一人である玉置敦彦・中央大学准教授の最新の研究成果を論評する、準公開の研究イベントを開催した。

また、データベースにフィードバックする作業を進めつつ、資料調査の成果を発信する新たな試みとして、国内外にある資料館についての情報（アクセス方法や所蔵資料）を盛り込んだ論考などを集めた「アーカイブス（資料館）のアーカイブ（情報集積）」を作成する取り組みを始めた。これは、海外のアーカイブスの情報を日本国内に、日本のアーカイブスの情報を内外に示すことで、それぞれ国家が推進してきた政策の、裏付けとなる歴史的資料の在処を整理・集約する試みである。国内外で実施した調査や、研究会活動で得られた知見の一部を、研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」とも協働し、米国資料館の実態についての論考や、日本の地方資料館が持つ意義・重要性を明らかにした論考などを発表した。

これら、日本の安全保障体制の歴史的検証、データベースの充実、そして資料館情報の集約といった取り組みは、いずれも、日本の外交・安全保障政策史の解像度を高め、国内外の人々が持つ、日本の政策に対するイメージを改善する役割・機能を持つことが期待される。これらの取り組みは、「シンクタンクにおける政策志向の外交史研究」という新基軸を確立し、本事業の目的達成に大きな前進をもたらしたと考える。

## 社会科学的手法による日本国民の安全保障認識調査と、その内外への発信

研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」は社会科学・政治科学の手法により、さまざまな状況下での日本人の安全保障・経済に対する認識を問う調査を進め、そこから得られた、対外支援と政治体制の連関についての成果を研究会メンバーの持つネットワークを利用して、米国・コロンビア大学など国際的な研究の中心から世界に発信した。

また、研究会「言説空間分析の文理横断的方法と応用」のサブユニット「外交・安全保障世論調査（SAFER）」では、日本人の外交・安全保障に対する認識調査を立ち上げた。これは、従来おこなわれてきた他機関の調査が、好感度を問うなどの漠然とした質問であったり、あるいは単発の調

査で継続性がなかったりしたことへの反省のもとに調査内容を設計したもので、国際情勢に対する一般的な質問から、核や有事、脅威認識といった、より突っ込んだ質問も網羅した調査項目を整えた、日本の外交・安全保障に関する初めての基礎的で包括的な世論調査となることを意図している。この調査を毎年、継続的に行うことで、日本人の長期的、かつ総合的な外交・安全保障認識を問う、信頼度の高い世論調査結果を得ることが可能になる。その記念すべき第一回の結果を、2024年10月に、第二回の結果を2025年3月に日本語版のみならず、英語版でも発信した。この世論調査の結果と分析は東大先端研 ROLES 年報「インド太平洋における自由民主主義の現在」にも掲載し、関係省庁や教育・研究機関に広く用いられるものとなることを目指す。このほかに、特定の国際的な事件・事象の影響により日本人の外交・安全保障認識がどう変化したのかを観測する調査なども実施した。

これらの取り組みにより外交・安全保障をめぐる日本社会の世論動向を把握し政策形成を助けるだけでなく、日本国民の安全保障認識を国際的に可視化し客観化することで、日本の政策志向の透明性を高めるといった国際的な信頼情勢に資する効果を持つことが期待される。

## ②成果物発信の強化の必要性

事業目的に沿った調査研究は順調に推移したが、他方で、基礎的な調査活動が活発であったことに比し、成果物の発信が出遅れるきらいがあったため、早期の成果導出を促進する必要がある。研究会「戦後日本外交の歴史的研究」などは、成果物のさらなる強化のため、今年度末までに複数の成果を論考の形で出すことにするなど、成果物の発信体制を整えている。成果物の発進に際しても、より研究会同士を連携した、つながりのある発信を行なっていく必要がある。

- 事業テーマ及び補助事業者の企画に基づき、情報収集及び調査研究が的確に行われたか。

## ①情報プラットフォーム構築の着実な実施

### データベース、ポータルサイトを通じた情報プラットフォームの構築

研究会「戦後日本外交の歴史的研究」を中心に、データベースの充実をはかった。具体的には1950年代の日米の首脳会談のようを、日米双方の記録を対照して突き合わせることが可能となるかたちで編集・公開し、さらに、従来その内容が不明であった、沖縄の本土復帰を訴えた、日本で最初とされる嘆願書の記録を年内にデータベースに搭載した。また、前述した資料館の情報を集約した論考を、発展総合事業「国際理念と秩序の潮流：日本の安全保障戦略の課題」の研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」とも連携しながら今年度末までに増やしていき、史資料情報のデータベースとなることを目指す取り組みを開始した。

研究会「自由・民主主義の動揺と再編」は、実装が遅くなったが、「米国大統領選挙とその後の世界」と題したポータルサイトを12月に実装した。これは、米国大統領選挙の時々の局面で、どのような論考やデータ、ニュースが発信されたのか、その主なものを集約し、さらに、選挙後についても同様の情報を集めることで、選挙結果の余波も含めた、後々の人々が参照できるような「同時代史」の資料集を作成する狙いがある。

そして、昨年度、ROLES Review Vol.4「民主主義を取り巻く現在」として刊行した年報を、今年は、先述した世論調査結果（日本人の安全保障認識）と、2024年度における活動成果に基づいた「インド太平洋における自由民主主義の現在」と題して編集し公表した。

### 国際連携・海外派遣の展開

研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」は、サーヴェイ実験を用いた世論動向の調査とその分析をはじめとした、研究会の成果を、1月に米国ニューヨークのコロンビア大学で開かれる研究会等を通じて披瀝し、国際連携に端緒をつけた。また、後述するように、研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」は、研究会メンバーによる訪問団を戦略的に中・東欧・バルト海沿岸諸国に派遣し、現地での調査や意見交換を実施したほか、研究会「戦後日本外交の歴史的研究」は複数の若手研究者のメンバーを米国に派遣し、最新の史資料状況の知見を深め、調査するといった活動を展開した。

### 研究拠点の脱東京化・京阪神における中心・拠点形成の推進

本事業は京阪神の主要大学に所属する、あるいはそこから育ち東京を含めた全国に散らばった米国研究者のネットワーク化を推進している。前年度に引き続き、研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」が京都で、研究会「戦後日本外交の歴史的研究」が大阪で研究会合を開き、また、研究会「戦後日本外交の歴史的研究」の関西地区在住の研究会メンバーを遠隔で東大先端研の連携研究員に採用するなど、地方・関西地区の研究拠点化の強化をはかった。

#### ②国際連携のよりいっそうの推進の必要性

研究メンバーの海外派遣などは順調に進展したが、他方で、組織性のある国際的な連携が想定より進まなかったことが反省点としてあげられる。これに対し、次年度に、研究会「自由・民主主義の動揺と再編」が米国に有力な米国専門家を中心とした訪問団を派遣して主要なシンクタンク・大学・研究機関との連携を強化することや、研究会「戦後日本外交の歴史的研究」が複数のメンバー

を国際研究会に登壇させ、調査研究成果を披瀝し国際的な連携を深めることを検討している。最終年度に、こうした国際連携と広報活動の強化を連動させ、情報プラットフォームとしての信頼性を高めていく。

(機動的かつタイムリーな国内外への発信)

- 海外のシンクタンクの動向も参考に、広報責任者を設置する等の措置を講じて、訴求対象ごとに、発信のタイミング、形式、内容等を工夫し、戦略的な発信に意を用いているか。

#### ①それぞれの需要層に応じた多彩な発信

##### 文字メディアの需要層に対する突っ込んだ地域的インテリジェンスの発信

第1年度目に広報責任者に任命したマスコミ出身の国末特任教授を中心として、通常のシンクタンクがあまり行ってこなかった多様な発信を展開することができた。

その第一は、活発な現地調査とその成果発信である。研究メンバーによる幅広い現地調査を多数実施してコメンタリーとして刊行したことに加え、現役新聞記者による米国大統領選の現地ルポを3回にわたって掲載してX上で4万回以上の閲覧数を記録している。日本にとって馴染みの薄いジョージアの政治情勢についての専門家解説も大きな反響を呼んだ。こうした文字による発信は、新聞などの在来型メディアを中心とした読者層により深いインテリジェンスを届けることを意図したものであり、大きな効果があったと考える。

##### 多様な媒体による機動的な発信とSNSの活用

第二に、国際情勢の展開に合わせた動画発信を心がけた。米国大統領選に際してはその選挙制度を動画で解説し、プーチン訪朝やウクライナに対する中距離弾道ミサイルの発射などに際しては即時的な動画配信を行った。過去の政治的事件を当時の写真を使って解説するなど、動画メディアを主な情報源とする若者層に正しい国際情勢理解を提供することができた。これらの取り組みは、動画や音声での機動的な発信を活発に行う欧米シンクタンクの取り組みを参考にしたものである。動画を掲載しているROLESのYouTubeチャンネル「ROLES Channel」の登録者数も順調に増加し、本報告書の作成時点で10,000名を超え、日本のシンクタンクとしては有数の規模となった。これらの文字媒体、動画媒体の発信を、XといったSNSを活用することでより効果的、相乗的な広報を展開した。また、多彩な対面イベントを通じての研究成果の発信の際には、イベントの模様を文書のかたちで報告するなど、発信の複層化にも取り組んだ。

そのほか、新たな ROLES の定期刊行物として「ROLES NEWSLETTER」の刊行を始めた。この ROLES NEWSLETTER を通じて、日本外交や日米関係に関する言説分析の成果を発表し、歴史と現代をつなぐ発信を試みている。

## ②発信の厚みを増していく必要性

以上のように、多彩な媒体で発信を行ってきたが、「情報」を重視し、情報プラットフォームの構築を目指す本事業としては、より発信の層の厚みを増していく必要がある。文字媒体の強化については前述したような取り組みを行なっているが、ほかには、よりスピード感の持った動画配信や、若年層向けの発信を強化していくことが課題として考えられる。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS 等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、日本の主張・視点の国際社会への発信が機動的・タイムリーかつ積極的になされたか。その結果として国際世論の形成に参画することができたか。

(※活動内容のみではなく、どのような発信が、どのように国際世論の形成への参画につながったかを総括的に記載すること。)

## ①事業目的に沿った国際的なイベントの実施・発信

### タイ国閣僚登壇のセミナーの実施

昨年度に引き続き、日タイ関係を深化させる活動を展開した。タイ国商務大臣ピチャイ・ナリブタパン氏を招いてのセミナー「21 世紀のタイの政治と経済：ペートンタン政権の政策の方向性」を 12 月 21 日に実施した。ここでは両国の政府関係者、学術研究者、企業・報道関係者のみならず、広く一般の人々も巻き込むかたちで、タイの政治・経済について政府高官の意見に直に触れ、質疑応答などを通じて意見交換を行うといった、相互理解を深める機会を作りだした。タイについては、同時に、2023 年 5 月の議会選挙で第 1 党となった前進党の幹部・主要議員との関係を従来から構築しており、2024 年の前進党の解党措置後に、大学・シンクタンクの立場から政府とは別に対話のチャンネルを維持し、タイの民主化に日本が長期的に関与していく経路を開拓する役割を負っている。

12 月 17 日には、前進党の元党首ピター・リムジャロエンラット・[ハーバード大学ケネディ行政学](#)  
[院](#)シニア・リサーチ・フェローの来日に際してセミナーを開催し、在日タイ人を含めた多くの参加者と共に、タイ民主化の課題を議論した。

### UAE のシンクタンク TRENDS との大規模シンポジウムの開催

発展総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」、発展総合事業「国際理念と秩序の潮流：日本の安全保障戦略の課題」と合同のか



たちで、2024年9月18・19日に、アラブ首長国連邦（UAE）のシンクタンク・TRENDS との大規模な国際会議「持続的な安全保障とその先：人工知能（AI）の役割」を開催した。この国際会議は、前年度までは米国 Atlantic Council と Trends が共催していたものであるが、2024年度においてこれを東大先端研に誘致し、2日間、合計6セッションにわたって、AIがもたらす安全保障上の問題について議論した。文理の垣根を超えて研究者が集うだけでなく、外務省、経済産業省、UAE 大使館から政府関係者が登壇し、さらには日本、中東・UAE だけでなく、米国やシンガポール、南アフリカの研究機関からも研究者が登壇・参加した。

国際会議の様子は、UAE の主要紙である Aletihad Newspaper で連日報道されたほか、Al Khaleej 紙、Emirates 通信社、Al-Bayan 紙など、UAE の主要メディアでも大々的に報道され、中東における日本のプレゼンスを高めるだけでなく、アジェンダ・セッティングにおけるリーダーシップを発揮することにも成功した。

#### 米国・欧州の広範囲にわたる自由・民主主義の動向をめぐる国際セミナー等の開催

研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」は、7月に北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターや、発展総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」の研究会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」との共催で、RCAST セキュリティ・セミナー「ウクライナとベラルーシにおける女性と革命」を開催したほか、2025年2月には、エストニアの国際防衛安全保障センター（ICDS）と共催のラウンドテーブルを実施した。また、発展総合事業「国際理念と秩序の潮流：日本の安全保障戦略の課題」の研究会「宗教と社会の関係の検証と再構築」主催の徳之島国際ユースキャンプを、本事業と合同のかたちで開催した。これらの取り組みは東欧、中・東欧、バルカン半島における女性や、若者の役割について深まった議論をすることができ、同地域の情勢への理解・知見を広げることができた。

そのほかに、前述したように 2025年1月には研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」の研究メンバーが渡米し、同地での研究会等を通じて日本の外交・安全保障について議論するほか、発展総合事業「国際理念と秩序の潮流：日本の安全保障戦略の課題」で開催されたシンポジウム「バイデン政権・岸田政権後の日米同盟とグランド・ストラテジー」では、研究会「自由・民主主義の動揺と再編」の複数のメンバーが登壇、あるいは参加し、日米同盟が今後進むべき道について議論することで互いの認識を確認・深めあうことができた。

## ②海外でのセミナー・シンポジウム等の実施・参加の強化

海外出張の実施や、海外シンクタンクとの関係構築は順調に進められている一方で、海外でのセミナー・シンポジウムの開催・参加等をより強化する必要がある。前述のように、研究会「自由・民主主義の動揺と再編」や研究会「戦後日本外交の歴史的研究」が、次年度において国際的な場での研究成果の披露を検討しているなど、対策を進めている。また、SNS における英語発信が低調に終わったことも課題の一つである。ROLES の X アカウントなどを通じた、英語発信の強化などの施策を検討している。

- 補助事業者・研究者個人によるインターネット、SNS 等による広報やセミナー・シンポジウムの実施・参加等を通じ、国民の外交・安全保障に関する理解増進に取り組んだか。また、その反響があったか。

(※活動内容のみではなく、どのような活動がどう国民の理解を増進したのか、どのような反響があったかを総括的に記載すること。)

## ①インターネット、対面、地方での活動を織り交ぜた取り組み

### 機動的な発信と SNS 発信の相乗効果

東大 ROLES は公式 X アカウントを運用しており、刊行物や動画の公開、イベントの実施などを逐一広報している。また、研究メンバーの多くも X アカウントを持ち、ROLES 公式アカウントのポストをリポストすることで拡散を図るというサイクルで発信力の強化を図ってきた。特に一部の研究メンバーは数万～数十万のフォロワーを X 上に持ち、その拡散力は非常に大きい。上述した機動的な発信と組み合わせることで、国民の理解増進に貢献しているものとする。また、研究メンバーによる note やオンライン・メディアなどでの発信も活発に行うなど、複数の媒体の活用による相乗効果の発揮もはかっている。

### 頻繁な RCAST セキュリティ・セミナーの利活用

ROLES としてこれまで取り組んできた「RCAST セキュリティ・セミナー」をはじめとした、各種のセミナー・シンポジウムを継続的に開催し、一般向けに知見を提供する機会をつくり続けた。これまで記述してきた催し以外では、研究会「自由・民主主義の動揺と再編」が、渡辺将人・慶應義塾大学教授を招き、間近に迫った米国大統領選挙について考える RCAST セキュリティ・セミナー「米大統領選の動向と米国社会」を実施し、米国現地における最新の情報・知見に接する場を創出することができた。

また、2025 年 2 月に渋谷 QWS で開催した、「外交・安全保障世論調査 (SAFER)」プロジェクト

トの成果報告イベント「日本人の世論にみる外交・安全保障」は、平日の夜にも関わらず多数の参加があり、日本人の外交・安全保障意識について参加者が登壇者とともに考える、有意な機会となった。

#### 地方を重視した発信・イベント

本事業の特色として、地方での発信に重点的に取り組んでいることがあげられる。前述した、徳之島での合同開催のほかに、本学所属の石本凌也特任研究員が、2024年12月に島根で、日米双方のリーダーが交代した後の日米関係についてのパブリックセミナーを開催したほか、研究会「戦後日本外交の歴史的研究」では、2025年1月に大阪で「関西日米交流フォーラム」と合同のかたちで公開研究会を開催し、また今後の計画として、沖縄で戦後日本の安全保障・沖縄問題について考える高校生向けの模擬授業の実施を検討するなど、東京に集中しがちな国民向けの理解増進の活動を、地方に広げるかたちで実施している。

#### ② 発信力のさらなる強化に向けて

東大先端研 ROLES の代表と副代表は、X におけるフォロワー数がそれぞれ7万や21万と、圧倒的な発信力を個人としては持っているものの、ROLES の公式 X アカウントのフォロワーは4400名程度であり、国際問題研究所や地経学研究所といった他の国際シンクタンクのアカウントに比べて伸び悩んでいる。ただし個々の動画は1万から9万程度に視聴回数が達することもあり、刊行物・動画の発信の頻度を高めることによって、フォロワー数の増加により、外交・安全保障への恒常的な社会的関心を喚起することが望まれる。X や YouTube だけでなく、そのほかのインターネットメディア・SNS を活用して発信力を強化する必要がある。また、東京においても東大先端研のキャンパス・施設で公開イベントを行うだけでなく、より幅広く多様な場に進出し、関西以外の地方でも発信を行い、地方拠点の分散化をはかることで、対面の場での理解増進の裾野を広げていくことも必要である。

(外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢献)

- 研究過程における外国シンクタンク・有識者等（在日の有識者、外交官、外国メディア関係者を含む）との定期的な討論や共同研究等を通じ、諸外国の視点や海外シンクタンク・有識者等のネットワークを取り入れた調査研究や、日本の立場や見解に関する外国シンクタンク・有識者等による理解の増進に取り組んでいるか。

(※ 活動内容のみではなく、外国シンクタンク・有識者との連携がどれほど、どのように深め

られたかを総括的に記載すること。)

(※調査研究事業については本項目の記載は任意。)

#### ①連携の恒常化と、フィールドの拡大

##### 恒常的な国際ネットワークの形成

国際的なシンクタンク・有識者との関係構築に、本年は大きな進展があった。昨年度に引き続き、東欧諸国のシンクタンク・有識者との関係構築を進めた。研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」が代表団を形成し、ポーランド・ワルシャワの各種機関・有識者と意見交換を行なったほか、北海道大学の服部倫卓教授がモルドバで外交団や有識者との面談、地域の情勢視察などを行った。昨年度に引き続きエストニアの研究機関、特にエストニア国際防衛安全保障センター（ICDS）との関係強化を行い、今年度は、クリスティ・ライク（Kristi Raik）所長を招いてのラウンドテーブルを開催した。また、前述した TRENDS との国際会議では、TRENDS と東大先端研との間に学術交流協定を締結する覚書が取り交わされ、TRENDS が東京に国際オフィスを開設することに結びつけるなど、これまで ROLES が取り組んできたシンクタンク・有識者との関係をより恒常的なものに発展させることができた。

##### 国際司法関係者とのネットワークの構築

上記や、他の項目で記載した取り組み以外では、ROLES の新たな試みとして、国際司法関係者とのネットワーク構築がある。国際刑事裁判所（ICC）に登録する国際弁護士、アキール・カンパーニャ氏を招へいし、国際法の役割、戦争犯罪について考える各種催しを実施し、ROLES が展開する国際世論醸成のフィールドを拡大させた。

#### ②海外シンクタンクにおける「日本」の名のさらなる拡張

以上のように、国際的なネットワーク拡大への取り組みは順調に展開している。今後は、そうした活動を海外のメディアやジャーナルなどでさらに取り上げられるよう、活動の強化をはかるとともに、一部研究メンバーに限定しがちな海外メディアでの露出を、より多く、さらに組織的に拡張して、国際世論における日本のプレゼンスを拡大させることが課題となる。

- G 7、安保理常任理事国以外の国のシンクタンクとの意見交換・セミナー実施を通じて、我が国の情勢認識及び外交施策に関する理解増進、並べに我が国にとり望ましい国際世論の醸成に取り組んでいるか。

(※調査研究事業については本項目の記載は任意。)

#### ①「非・大国」における重点的な活動

## ユーラシア大陸外縁諸国との関係構築

ROLES は G7 や安保理常任理事国以外の、「非・大国」との国際交流・関係構築を重点的に展開してきた。本事業においては、中東や東欧、中・東欧、東南アジアなど、ユーラシア大陸において連綿と繋がる非 G7 の地域・諸国との関係構築に取り組み、その関係を重層的なものにしてきた。また、ROLES に所属する研究員の多くが非 G7 地域を専門的な研究対象としており、各種媒体での研究成果の発出も、その特徴を反映している。今後とも、これらの国家・地域との関係構築・調査研究を推進していくことが ROLES の社会的な役割であると認識している。

本事業においては、これらの国家・地域の中でもタイにおいてハイレベルの国際交流・関係構築に成功してきた。これまで述べてきたセミナーなどの他に、今年の 6 月と 12 月、与野党含めたタイの有力政治家と日本の国会議員、政府当局者、有力シンクタンク、各種企業・団体との意見交換・交流を定期的に行い、タイの政治や東南アジア情勢、そして同地域における日本外交の役割などについて率直な意見交換を行い、ROLES が日本・タイの二国間関係において橋渡しの中心的な役割を果たす活動を展開してきた。

## ②民主主義について考える場の拡大の必要性

自由・民主主義が直面する内外からの揺らぎの淵源と波及の特定と、自由・民主主義の価値の再構成・再確認を目的としている本事業としては、今後は、G7 以外の諸地域における民主主義とその競争者について、より活発に意見交換の場の設定と、異なる立場の間の相互理解の推進に取り組む必要がある。そのためには、政府・学術レベルだけでなく、市民レベルとも繋がる取り組みを行ない、これらの国家・地域の人々が民主主義のあり方をどのように考えているのか探る試みも必要になってくるであろう。次年度の課題としたい。

## (2) 補助事業の実施体制及び実施方法

- 若手、女性、地方在住研究者を積極的に登用しているか。若手研究者の育成（英語による発信力の強化を含む。）に取り組んでいるか。

## ①多様な人材の発掘と育成

### 若手・地方・女性研究者のバランスの取れた研究体制

本事業は若手・地方・女性研究者を各研究会にバランスよく配置することができた。特に、これまでシンクタンクにおける調査研究に参画して来なかった若手研究者を研究メンバーとして迎えるなど、ROLES の重要なアイデンティティである若手の登用を強力に推進している。エスタブリッシュされた人材のプールであるだけでなく、これからの世代を担う若手人材の発掘と登用がシンクタ

シンの重要な役割であるとの信念に基づくものであり、今後とも ROLES の活動の中核としていきたい。

#### 若手研究者による英語発信力の強化

大学院生や地方在住、女性を含む、複数の若手研究者を米国に派遣して調査研究を行い、英語発信力の地固めを行なったほか、前年度に続き、インターン制度を活用し、大学の学部生・院生に調査研究活動の場を提供した。2 年目である今年より、インターンによる論考の作成を開始し、現在、英語論考発表の準備を進めるなど、若手による国際発信力の強化に引き続き取り組んでいる。また、ROLES の特任・専任教員による有力海外ジャーナルへの英語発信なども前年度に続いて行われている。

#### ②女性人材のさらなる登用の必要性

本事業に関与する研究メンバー内では、ジェンダー・バランスには大きな問題はないと考えている。しかし、ROLES の専任・特任教員に限ってみると女性が非常に少ないという状況が依然として解決されていない。人事上の問題と関係するため一挙に改善することは難しいとしても、今後の重要な取り組み項目として認識する必要がある。

- 複数の分科会や研究会がある場合、それらの間の有機的な連携が取れているか。単一の分科会・研究会のみの場合は、分散的な個人研究に留まらず、研究者間で連携して調査研究・対外発信が実施されているか。

#### ①研究会を横断した研究・発信態勢

##### ROLES 内部での研究会間の連携

第 1 年度目と同様、各研究会の実施に際しては他の研究会にも案内を出し、研究メンバーが様々な研究会にクロス出席できるよう配慮しているほか、本事業においては、他事業の研究会を含む、活発な研究会間の連携を実現した。まず、前述したように、研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」は、研究会「『西側の論理』の検証と再構築」と合同での研究会合を実施したほか、研究会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展望・帰結」との合同調査を実施した。研究会「戦後日本外交の歴史的研究」は、サブユニット「戦後日本政治史検証プロジェクト」や研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」、同サブユニット「国際政治とリーダーシップ」などと連携しながら、外交史の知見・資料の蓄積・公表を行い、1 月には合同研究会を開催した。その他、発展総合事業「国際理念と秩序の潮流：日本の安全保障戦略の課題」と合同で各種イベントを開催したほか、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターや、関西日米交流フォーラムなどといった

外部研究機関とも連携した活動を展開した。

### 事業を横断した「遊軍」派遣制度

ROLES が実施している各種の事業間で予算を抛出し合い、研究メンバーや研究メンバーの推薦した人材を海外調査に派遣する「遊軍」制度を設けた。この制度を用いて国末特任教授や神戸学院大学の岡部教授が東欧やコーカサスに、北海道大学の服部教授がモルドヴァに出張し、自由・民主主義の帰趨を左右する重要性を持つ国・地域での戦略的な情報収集と発信を行った。これらの出張の成果は今後の学術的刊行物のための基礎とするだけでなく、まずは「出張報告」として速報的に公開することで、日本にとって戦略的に重要な国・地域及び有益な対話のカウンターパートを指し示し方向づけることで、関係各省庁や他のシンクタンクの活動にも影響を及ぼす効果を望んでいる。

#### ② 制度化による有機的な連携を目指して

以上のように、各研究会の連携を臨機応変に、かつ着実に進展させているものの、恒常的に制度化されていると言えるのは一部にとどまっている。第3年度においては、研究会同士の合同研究会合を定期開催するなど、連携をより制度化することを考慮する。

- 外務省等の関係部局とのコミュニケーションを構築し、政策立案上のニーズを把握し、それを踏まえて効果的にアウトプット・政策提言を行ったか。

#### ①直接的なニーズ把握に基づく知見提供

### ROLES メンバーによる外交・安全保障政策への貢献

ROLES の大きな特徴は、研究メンバーが平素から政府関係者との密接な関係を構築し、我が国に求められる知見を直接的に把握しながら提供していくことが可能な点である。第2年度目においても、ROLES の研究メンバーが持つ知見を我が国の外交・安全保障政策に反映する機会を数多く持つことができた。中でも、研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」の東野篤子座長より発表された、日本の対ウクライナ支援の現状や、今後の課題・提言を論じたコメンタリーは、X 上で7万6000のインプレッション数を記録するなど、大きな反響を呼んだ。また、新たに開始した ROLES コモンルーム・トークにおいて、外交・安全保障に長い経験を持つ実務家を招き、知見と経験、政策的な示唆などを共有しながら率直な議論を行っている。

### 与野党の垣根をこえた政治家への知見提供

また、同じく前述したように、タイ関係の意見交換では、東南アジア情勢に関心を持つ国会議員が与野党の垣根を超えて集まり、タイの政党指導者・下院議員とのハイレベルな協議の場をセッテ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>ィングすることができ、日本の東南アジア政策の立案にとって貴重なコミュニケーション経路を確立した。</p> <p>②より組織的な知見提供・政策提言能力の向上</p> <p>外務省などの政府当局者とより定期的に話し合うことで、政策的なニーズの汲み取りをさらに組織的に行う必要がある。また、政策的な知見の提供・提言の領域も、さらに拡大させていかなければならない。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 補助事業者のホームページ上に、研究部門、研究者個人（研究実績、写真、連絡先等）の情報を充実させ、研究内容及び研究者の見える化に努めているか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>① ROLES 事業の見える化</p> <p><b>研究会情報の可視化</b></p> <p>ROLES のサイト上では、各事業及びそれらを構成する研究会全てについてのページを設けている。研究メンバーについても同様である。また、成果物を観光したりイベントの実施についての投稿を行う際には、それがどの事業（研究会）であり、誰が参加したのかを管理画面上で選択できるようになっており、選択結果は自動的に各ページに反映される仕組みである。自動化により、各事業の実施状況や成果物の著者を取りこぼしなく可視化することに注意を払っている。</p> <p>② 人手によるより細かいフォロー</p> <p>一方、個人のプロフィールや写真、過去の業績等については人手で入力するほかないが、従来、人手不足によって入力が進まない状況が続いてきた。第2年度目においては、インターンを動員して各研究メンバーのページを重点的に充実させたことで、以上の問題はかなり解消されたと考える。次の課題としては、英語版のプロフィールページの充実に取り組む必要があろう。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 組織自体の外交・安全保障政策に関する政策提言能力及び国際発信力を強化し、国際的な議論の先導に努めているか。（※実施状況のほか、発信がどう国際世論の先導につながったかを記載すること。）</li> </ul> <p>（※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。）</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| <p>① ROLES 自体の認知度を高める取り組み</p> <p><b>パンフレットの制作</b></p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |



個別の事業や研究会だけでなく、組織としての ROLES の認知を図る取り組みを前年度から引き続いて実施した。その一つとして ROLES の紹介パンフレットを作成して訪問者や面談相手に配布してきたが、第 2 年度目には活動内容の拡充に合わせて新たなパンフレットの作成に着手した。同パンフレットは英語と日本語を併記し、外国からの訪問者が持ち帰って組織内で回覧してもらえるよう工夫している。また、ROLES が東大の一部局による公式のシンクタンクプロジェクトであることを利用して、東大先端研のウェブサイトや刊行物にもその名前や活動内容を掲載している。

### ウェブサイトの改修

ROLES の運営するウェブサイトも、組織的発信の重要な手段である。そこで ROLES では毎年ウェブサイトの改修による高機能化を図っており、2024 年には日本語ページと英語ページをより効果的に連携するための大規模改修に着手した。従来は両言語のコンテンツが混在するなど、非日本語話者には見づらい仕様であったものを改善することが目的である。

### ② 個人から組織へ

ROLES の研究メンバーによる国際的ネットワーク開拓の試みは、特に第 2 年度目において大きな成果を挙げた。今後の課題は、こうして得られたネットワークを ROLES としての知名度や発信力にいかにして繋げていくかであろう。一つの方法としては、それぞれのメンバーに ROLES 独自の名刺を配布し、海外のカウンターパートの面会時に所属組織の名刺と一緒に手渡してもらうことが考えられる。「こんなプロジェクトに所属していて、こんなことをやっている」という話題が生まれる余地を生もうという目論見である。前述した英語版 X アカウントの開設も必要となろう。

- グローバルに活躍する若手人材を含む多様なシンクタンク人材の発掘・育成に意を用い、これら人材の国際的な発進力強化に取り組んでいるか。

(※総合事業及び調査研究事業については本項目の記載は任意。)

### ① 若手人材の発掘・育成に関する方針と成果

#### 若手人材を研究者として育てる取り組み

ROLES の若手人材発掘・育成は、当該人材を「研究者として育てる」という原則によって実施されている。若手人材をアシスタントや事務員として使うのではなく、あくまでも研究者として扱い、その能力を伸ばしていく方針ということである。実際、前事業及び本事業の第 2 年度目までに ROLES からは多様な研究人材が輩出されており、第 2 年度目には山口特任助教が東京国際大学准教授に着任して英語による国際教育プログラムを担当することとなり、また年度末をもって石本特任研究員が退任し、新年度から北海道教育大学の専任講師に着任することが決まった。他方、第 2 年

度目には新たに2人の若手研究者が特任研究員として ROLES に着任するなど、若手人材のキャリアにおける選択肢として ROLES は着実に地位を固めてきた。このほか、前述のインターン生にも英語発信を積極的に志望する学生がおり、ROLES 側研究メンバーの指導の下で発信の準備を進めている。

#### 実務人材の輩出

また、第2年度目においては、田中（祐）特任研究員が JICA ウクライナ支援室に着任したほか、年度初には ROLES インターン生が防衛省や経済産業省に入省するなど、外交・安全保障の現場で活躍する人材を相次いで輩出している。

#### ② 若手による国際発信へのテコ入れ

設立から日の浅い ROLES であるにも関わらず、若手人材を集めて研究に携わらせるという体制自体は比較的うまく機能していると考ええる。次なる課題は国際発信であろう。幸い、ROLES の国際交流は拡大傾向にあり、これらの機会を捉えて特任助教・特任研究員クラスの登壇や発言、海外でのイベントの開催・参加等をさらに促していきたい。これまで幾度か述べてきた定例ミーティング制度を用いて、事務負担などで若手が研究に専念できなくなる事態を避けることも効果があるだろう。もう一つの問題は、専任・特任教員の中における極端な女性比率の低さである。今後は若手女性人材の採用と、当該人材による国際発信の推進を真剣に検討していく。

#### （3）補助金の使用

- 補助金事業事務処理マニュアルに沿って事業が実施されているか。

① 本事業団体では大学執行部、研究室の研究部門、事務部門にて「補助金事業事務処理マニュアル」を共有し、マニュアルに従った執行がなされている。

②

### 3-1 事業の実施状況・成果

※以下のカテゴリーに沿って、具体的な実施状況（日時、場所、参加者/参加人数、テーマ、調査、議論や対外発信の概要、成果等）について記載すること。（分量自由）

#### 1. 基礎的情報収集・調査研究

##### 研究会・タスクフォースによる研究会合の実施概要

###### (1) 研究会「自由民主主義の動揺と再編」

###### 1) RCAST セキュリティー・セミナー「米大統領選の動向と米国社会」

（※公開研究会として実施）

【日時】2024年9月2日（月）15:00～16:30

【場所】東京大学駒場Ⅱキャンパス3号館中2階セミナー室

【参加者／参加人数】15名

渡辺将人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

【概要 URL】<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/event/20240902>

###### 2) 第1回会合

【日時】2025年1月22日（水）16:00～18:00

【会議形式】Zoom

【参加者／参加人数】9名

村田晃嗣（同志社大学法学部教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

金成隆一（朝日新聞）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

合六強（二松學舎大学国際経済学部准教授）

松本佐保（日本大学国際学部教授）

高橋慶吉（大阪大学大学院法学研究科教授）

山口航（帝京大学法学部専任講師）

阿部亮子（麗澤大学国際学部准教授）

###### 【議題】

「空白に誕生した「トランプ王国」」

## (2) 研究会「戦後日本外交の歴史的研究」

### 1) 第1回会合

【日時】2024年6月14日(土) 14:00～15:30

【会議形式】Zoom

【参加者／参加人数】7名

中島琢磨(九州大学大学院法学研究院教授)

鍛冶一郎(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

池宮城陽子(日本学術振興会特別研究員・東京工業大学)

真栄城拓也(日本学術振興会特別研究員・大阪大学)

西村真彦(国際日本文化研究センター機関研究員)

濱砂孝弘(早稲田大学社会科学総合学術院助教)

藤田吾郎(早稲田大学政治経済学術院講師)

【議題】

「今年度の活動内容と最終成果について」

### 2) 打ち合わせ

【日時】2024年8月20日(火) 15:00～17:00

【場所】東京大学駒場Ⅱキャンパス 14号館 114

【参加者／参加人数】2名

鍛冶一郎(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

藤田吾郎(早稲田大学政治経済学術院講師)

【打ち合わせ内容】

オンライン資料の収集について

### 3) 第2回会合

【日時】2024年9月9日(月) 14:00～16:00

【会議形式】ハイブリッド方式

対面：東京大学駒場Ⅱキャンパス 4号館 6階 665

オンライン：Zoom

【参加者／参加人数】9名

中島琢磨(九州大学大学院法学研究院教授)

濱砂孝弘（早稲田大学社会科学総合学術院助教）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員・東京工業大学）

真栄城拓也（日本学術振興会特別研究員・大阪大学）

西村真彦（国際日本文化研究センター機関研究員）

藤田吾郎（早稲田大学政治経済学術院講師）

小林弘幸（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

石本凌也（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

**【議題】**

「安保改定と『吉田路線』論」

4) 第3回会合

**【日時】** 2024 年 10 月 11 日（金）14:00～16:30

**【会議形式】** 九州大学東京オフィス（有楽町）

**【参加者／参加人数】** 8 名

中島琢磨（九州大学大学院 法学研究院教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員）

藤田吾郎（早稲田大学 政治経済学術院講師）

濱砂孝弘（早稲田大学 社会科学総合学術院助教）

真栄城拓也（日本学術振興会特別研究員・大阪大学）

西村真彦（国際日本文化研究センター機関研究員）

加藤博章（関西学院大学兼任講師）

**【議題】**

「九条＝安保体制の再考」

冒頭に中島座長より企画趣旨の説明をおこない、続いて濱砂報告者、池宮城報告者、加藤報告者が、それぞれの観点から議題に関する報告をおこなった。

5) 第4回会合（公開研究会）

**【日時】** 2025 年 1 月 24 日（金）18:00～19:30

**【会議形式】** 大阪大学箕面キャンパス

【参加者／参加人数】17名

中島琢磨（九州大学大学院 法学研究院教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員）

藤田吾郎（早稲田大学 政治経済学術院講師）

濱砂孝弘（早稲田大学 社会科学総合学術院助教）

真栄城拓也（日本学術振興会特別研究員・大阪大学）

西村真彦（国際日本文化研究センター機関研究員）

関西日米交流フォーラムからの参加者

【議題】

「1955年重光訪米の再検討—その全体像を中心として」

本研究会は、関西日米交流フォーラムとの共催で、非研究会メンバーも参加可能な公開研究会のかたちで実施した。鍛冶報告者より発表を行い、質疑応答・議論を行った。

## 6) 第5回会合

【日時】2025年3月21日（金）13:30-15:30

【会議形式】九州大学有楽町オフィス

【参加者】

添谷芳秀（慶應義塾大学名誉教授）

中島琢磨（九州大学大学院 法学研究院教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

池宮城陽子（日本学術振興会特別研究員）

藤田吾郎（早稲田大学 政治経済学術院講師）

濱砂孝弘（早稲田大学 社会科学総合学術院助教）

西村真彦（国際日本文化研究センター機関研究員）

【議題】

九条一安保体制とミドルパワー外交の来歴

中島座長より研究会合の企画趣旨についての説明があったのち、添谷芳秀名誉教授より、ミドルパワー外交論や九条一安保体制についての話があり、その後、参加者により質疑応答・議論がなされた。

## **(2-1) サブユニット「戦後日本政治史検証プロジェクト」**

### **1) 第1回会合**

【日時】2024年7月23日（火）15:00～17:00

【会議形式】青山学院大学15号館12階第三合同研究室（三研）

【参加者／参加人数】9名

小宮京（青山学院大学文学部教授）

進藤翔太郎（京都大学 人間・環境学研究科 人文学連携研究者）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

竹内桂（明治大学政治経済学部兼任講師）

佐藤健太郎（千葉大学法政経学部准教授）

市川周佑（青山学院大学大学院文学研究科博士課程）

中澤俊輔（秋田大学教育文化学部准教授）

玉置敦彦（中央大学法学部准教授）

濱砂孝弘（早稲田大学総合社会学術院助教）

#### **【議題】**

「ジャパン・ロビーと戦後日本：アメリカ対日協議会と Fairfield-Maxwell 社」

### **2) 合同研究会（第2回会合）**

【日時】2025年1月30日（木）13:00～15:00

【会議形式】青山学院大学15号館5階13会議室

【参加者／参加人数】28名

司会：

小宮京（青山学院大学文学部教授）

幹事：

井上正也（慶應義塾大学法学部教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

報告：

玉置敦彦（中央大学法学部准教授）

討論者：

高橋慶吉（大阪大学大学院法学研究科教授）

泉川泰博（青山学院大学国際政治経済学部教授）

参加者：

サブユニット「戦後日本政治史検証プロジェクト」

研究会「戦後日本外交の歴史的研究」

研究会「日本の価値観外交の検証と再構築」

サブユニット「国際政治とリーダーシップ」の各研究メンバー

大学・研究機関所属員

出版・メディア関係者

#### 【議題】

玉置敦彦研究委員が出版した『帝国アメリカがゆずるとき：譲歩と圧力の非対称同盟』を題材にした、公開研究会として合評会を実施した。本会合は、サブユニット「戦後日本政治史検証プロジェクト」の主催のもと、各研究会との合同開催となる。玉置委員より同書の概要について説明を行ったあと、高橋慶吉・大阪大学教授、泉川泰博・青山学院大学教授から、それぞれ討論者としてコメントがあり、フロアからの質疑応答があった。

### (3) 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」

1) 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」、ならびに研究会「『西側』の論理の検証と再構築」、メンバーによる研究会

【日時】2024年6月3日（木）17:00～18:00

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】16名

細谷雄一(慶應義塾大学法学部教授)

岩間陽子(政策研究大学院大学教授)

佐竹知彦(青山学院大学准教授)

ギブール・ドラモット(フランス国立東洋言語文化学院教授)

鶴岡路人(慶應義塾大学総合政策学部准教授)

山本みずき(慶應義塾大学大学院)

東野篤子(筑波大学人文社会系教授)

合六強(二松学舎大学国際政治経済学部准教授)

小森宏美(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

山本直(日本大学法学部教授)

保坂三四郎(エストニア国際防衛安全保障センター研究員)



服部倫卓(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授)

中井遼(東京大学先端科学技術研究センター教授)

西山美久(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)

田中祐真(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

小林弘幸(東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員)

**【概要】**

国末憲人(東京大学先端科学技術研究センター特任教授)

報告内容：「ウクライナ情勢の検討」

2) 第1回会合(研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催)

**【日時】** 2024年7月25日(木) 10:00~11:00

**【場所】** Zoom

**【参加者／参加人数】** 16名

佐竹知彦(青山学院大学准教授)

細谷雄一(慶應義塾大学法学部教授)

岩間陽子(政策研究大学院大学教授)

鶴岡路人(慶應義塾大学総合政策学部准教授)

山本みずき(慶應義塾大学大学院)

東野篤子(筑波大学人文社会系教授)

合六強(二松学舎大学国際政治経済学部准教授)

森聡(慶應義塾大学法学部教授)

寺岡亜由美(コロンビア大学博士研究員)

小森宏美(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

保坂三四郎(エストニア国際防衛安全保障センター研究員)

服部倫卓(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授)

国末憲人(東京大学先端科学技術研究センター特任教授)

中井遼(東京大学先端科学技術研究センター教授)

田中祐真(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

小林弘幸(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

**【概要】**

研究会「『西側の論理』の検証と再構築」との共催で開催された。報告者の佐竹委員より

「AUKUS の現状と展望」と題する報告があった後、質疑応答が行われた。

3) 第 2 回会合（研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催）

【日時】2024 年 9 月 10 日（火）17:00～18:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】11 名

細田尚志（チェコ国防大学准教授）

鶴岡路人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

小森宏美（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

山本直（日本大学法学部教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

中井遼（東京大学先端科学技術研究センター教授）

国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

小林弘幸（東京大学先端研学技術研究センター特任研究員）

【概要】

研究会「『西側の論理』の検証と再構築」との共催で開催された。報告者の細田氏より「チェコ共和国の外交・安全保障の現状」と題する報告があった後、質疑応答が行われた。

4) 第 3 回会合（研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催）

【日時】2024 年 9 月 11 日（水）11:00～12:30

【場所】ハイブリッド

対面：慶應義塾大学三田キャンパス北館 1 階会議室 2

オンライン：ZOOM

【参加者／参加人数】9 名

Philip Shetler-Jones (RUSI)

細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

合六強（二松学舎大学国際政治経済学部准教授）

鶴岡路人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

小森宏美（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

小林弘幸（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

研究会「『西側の論理』の検証と再構築」との共催で開催された。報告者の Philip Shetler-Jones 氏より「NATO, IP4 (AP4) and China」と題する報告があった後、質疑応答が行われた。

5) 第4回会合（研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催）

【日時】2024年9月16日（月）17:00～18:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】13名

平野高志（ウクルインフォーム）

合六強（二松學舎大学国際政治経済学部准教授）

鶴岡路人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

佐竹知彦（青山学院大学 国際政治経済学部 准教授）

小森宏美（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

山本直（日本大学法学部教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

中井遼（東京大学先端科学技術研究センター教授）

国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

小林弘幸（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

研究会「『西側の論理』の検証と再構築」との共催で開催された。報告者の平野高志氏より「政治・社会情勢から考えるロシア・ウクライナ戦争の短期展望」と題する報告があった後、質疑応答が行われた。

6) 第5回会合（研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催）

【日時】2024年10月28日（月）17:15～18:15

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】15名

細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

鶴岡路人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

山本みずき（慶應義塾大学大学院）

佐竹知彦（青山学院大学 国際政治経済学部 准教授）

森聡（慶應義塾大学法学部教授）

寺岡亜由美（コロンビア大学博士研究員）

山本直（日本大学法学部教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

合六強（二松學舎大学国際政治経済学部准教授）

中井遼（東京大学先端科学技術研究センター教授）

西山美久（東京大学先端科学技術研究センター特任助教）

小林弘幸（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

【概要】

国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

報告内容：「出張報告・アルメニアの安全保障環境調査」

7) 第6回会合（研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催）

【日時】2025年2月3日（月）15:00～16:30

【場所】Zoom

【参加者／参加人数】10名

細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授）

合六強（二松學舎大学国際政治経済学部准教授）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

鶴岡路人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

山本みずき（慶應義塾大学大学院）

佐竹知彦（青山学院大学国際政治経済学部准教授）

保坂三四郎（エストニア国際防衛安全保障センター研究員）

国末憲人（東京大学先端科学技術研究センター特任教授）

小林弘幸（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

**【概要】**

研究会「『西側の論理』の検証と再構築」との共催で開催された。報告者の鶴岡路人委員より「「日豪抑止対話」開催報告」と題する報告があった後、質疑応答が行われた。

8) 第7回会合（研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催）

**【日時】** 2025年2月5日（水）20:00～21:30

**【場所】** Zoom

**【参加者／参加人数】** 7名

Alessio Patalano（King's College London）

細谷雄一（慶應義塾大学法学部教授）

岩間陽子（政策研究大学院大学教授）

東野篤子（筑波大学人文社会系教授）

鶴岡路人（慶應義塾大学総合政策学部准教授）

小林弘幸（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

**【概要】**

研究会「研究会「『西側』の論理の検証と再構築」共催」との共催で開催された。報告者のAlessio Patalano氏より「Global Combat Air Programme（GCAP）」と題する報告があった後、質疑応答が行われた。

(4) 研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」

1) 第1回会合

**【日時】** 2024年4月9日（水）11:00～12:00

**【会議形式】** Zoom

【参加者／参加人数】 9 名

待鳥聡史（京都大学大学院法学研究科教授）

池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）

鍛冶一郎（東京大学先端科学技術研究センター特任研究員）

大村華子（京都大学大学院法学研究科教授）

大村啓喬（滋賀大学経済学部准教授）

彦谷貴子（学習院大学国際センター教授）

竹中治堅（政策研究大学院大学教授）

山田真裕（関西学院大学法学部教授）

外山文子（筑波大学人文社会系准教授）

【議題】

「2024 年度の活動方針について」

2) 第 2 回会合

【日時】 2024 年 11 月 1 日（金） 15:00～17:00

【会議形式】 ハイブリッド

【参加者／参加人数】 8 名

待鳥聡史（京都大学大学院 法学研究科教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

竹中治堅（政策研究大学院大学教授）

大村華子（京都大学大学院法学研究科教授）

大村啓喬（滋賀大学 経済学部准教授）

彦谷貴子（学習院大学 国際センター教授）

山田真裕（関西学院大学 法学部教授）

外山文子（筑波大学 人文社会系准教授）

【議題】

「オンライン調査質問票の検討」

冒頭に待鳥座長より企画趣旨の説明をおこない、続いて竹中報告者が今年度開始予定のオンライン調査の内容について報告をおこなう。

**(5) 研究会「言説空間分析の文理横断的方法と応用」/サブユニット「世論調査プロジェクト」**

(※、世論調査の規模も大きくなり、実績も出てきたため、11月以降、「外交・安全保障世論調査(SAFER)」プロジェクトとして活動を行った)

**1) 第1回会合**

【日時】2024年4月2日(火) 9:00~10:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】5名

合六強(二松學舎大学 国際政治経済学部准教授)

飯田健(同志社大学 法学部教授)

鍛冶一郎(東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員)

小泉悠(東京大学 先端科学技術研究センター准教授)

中井遼(東京大学 先端科学技術研究センター教授)

【概要】

「2024年度の活動方針について」

**2) 第2回会合**

【日時】2024年5月2日(木) 15:00~18:00

【場所】対面：東洋大学駒場Ⅱキャンパス4号館665

【参加者/参加人数】5名

合六強(二松學舎大学 国際政治経済学部准教授)

飯田健(同志社大学 法学部教授)

鍛冶一郎(東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員)

小泉悠(東京大学 先端科学技術研究センター准教授)

中井遼(東京大学 先端科学技術研究センター教授)

【概要】

2024年度第1回世論調査の質問票について

**3) 第3回会合**

【日時】2024年8月27日(火) 9:30~11:00

【場所】Zoom

【参加者/参加人数】5名

合六強（二松學舎大学 国際政治経済学部准教授）

飯田健（同志社大学 法学部教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

小泉悠（東京大学 先端科学技術研究センター准教授）

中井遼（東京大学 先端科学技術研究センター教授）

**【概要】**

2024 年度第 1 回世論調査の結果内容について

4) 第 4 回会合

**【日時】** 2024 年 9 月 23 日（月） 9:00～11:00

**【場所】** ハイブリッド形式

**【参加者／参加人数】** 5 名

合六強（二松學舎大学 国際政治経済学部准教授）

飯田健（同志社大学 法学部教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

小泉悠（東京大学 先端科学技術研究センター准教授）

中井遼（東京大学 先端科学技術研究センター教授）

**【概要】**

2024 年度第 1 回世論調査結果の公表と第 2 回世論調査の質問票について

5) 打ち合わせ

**【日時】** 2024 年 9 月 30 日（月） 10:00～12:00

**【場所】** 東京大学駒場Ⅱキャンパス 4 号館 665

**【参加者／参加人数】** 3 名

合六強（二松學舎大学 国際政治経済学部准教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

中井遼（東京大学 先端科学技術研究センター教授）

**【概要】**

第 1 回調査結果の報告書の内容について

6) 第 5 回会合



【日時】 2024 年 11 月 29 日（金） 13:30～15:00

【場所】 ハイブリッド形式

【参加者／参加人数】 5 名

合六強（二松學舎大学 国際政治経済学部准教授）

飯田健（同志社大学 法学部教授）

鍛冶一郎（東京大学 先端科学技術研究センター特任研究員）

小泉悠（東京大学 先端科学技術研究センター准教授）

中井遼（東京大学 先端科学技術研究センター教授）

【概要】

議題「米大統領選特別調査の結果分析について」

冒頭に合六座長より企画趣旨の説明をおこない、続いて飯田報告者が 10 月から 11 月にかけて実施した「日本における外交・安全保障問題に関する世論調査」（米大統領選特別調査）の結果分析について報告。

## 国内外有識者・シンクタンクとのヒアリング／意見交換実績

本事業にかかる研究会及び ROLES メンバーによる国内外有識者・シンクタンクへのヒアリング／意見交換実績は以下の通り。

### 【研究会主体】

| 実施日       | 実施者  | 対象者氏名（所属）                                                 | 内容                                                                                                 | 実施研究会                          |
|-----------|------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 2024/10/9 | 国末憲人 | アキーレ・カンパーニャ（国際刑事裁判所弁護士会（ICCBA））<br>他約 25 人（非公開、研究者や学生が主体） | ROLES と立命館大学人文科学研究所「変革的正義研究会」の共催セミナー「Sending Unheard Voices to the International Criminal Court」開催 | 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」 |

### 【ROLES メンバー】

| 実施日       | 実施者   | 対象者氏名（所属）              | ヒアリング内容                             |
|-----------|-------|------------------------|-------------------------------------|
| 2024/6/19 | 鍛冶 一郎 | 吉本旅人（（株）丸善雄松堂）         | 楠田寛関係の資料の現況、60 年代・70 年代の政治・外交史料について |
| 2025/3/4  | 国末 憲人 | Ferenc Waak（ドイツ大使館書記官） | ウクライナ情勢、アゼルバイジャン情勢、ドイツのウクライナ支援について  |

## 政府関係者へのヒアリング実績

ROLES メンバーによる政府関係者のヒアリング実績は以下の通り。

| 実施日 | 実施者 | 対象者氏名（所属） | ヒアリング内容 |
|-----|-----|-----------|---------|
|-----|-----|-----------|---------|

|           |       |                                         |                                                                        |
|-----------|-------|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 2024/10/3 | 国末 憲人 | ステパン・グリゴリャン（アルメニア・グローバル化・地域協力分析センター理事長） | ナゴルノ・カラバフ紛争のその後、アルメニア・アゼルバイジャン間の和平交渉、アルメニアの対ロシア、対欧米外交と近隣外交と日本のかかわりについて |
| 2024/10/6 | 国末 憲人 | ギュルセル・イスマイルザーデ（駐日アゼルバイジャン大使）            | ナゴルノ・カラバフ復興の現状とアゼルバイジャンの外交方針について                                       |
| 2024/10/7 | 国末 憲人 | アキーレ・カンパーニャ（ICC 登録弁護士）                  | ウクライナでのロシア軍による戦争犯罪への訴追に関する国際協力について                                     |

## 海外調査実績

研究会を主体とした海外調査実績は以下のとおり。

| 実施日              | リンク                              | 対象者氏名（所属）                    | 訪問先  | 内容                                              | 実施研究会                                                       |
|------------------|----------------------------------|------------------------------|------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 2024/4/21～<br>29 | <a href="#">服部倫卓教授がモルドバで現地調査</a> | 服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授） | モルドバ | 外交団や有識者との面談に加え、今後のモルドバ情勢を左右すると考えられる地域の情勢視察も行った。 | 研究会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」<br>研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」 |

|                   |                                   |                             |                     |                                                                                                                                                                                                            |                                                                       |
|-------------------|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 2024/5/26～<br>27  | <a href="#">ワルシャワの研究機関への訪問と協議</a> | 東野篤子（筑波大学<br>人文社会系教授）、<br>他 | ワルシャ<br>ワ/ポー<br>ランド | ポーランド・ワルシャワ<br>に滞在し、現地の外交・<br>安全保障政策に関する最<br>有力の研究機関の多くを<br>訪問し、それらの機関の<br>幹部との非公開会合を行<br>った。非公開会合では、<br>中・東欧諸国における対<br>露政策、ウクライナ支<br>援、NATO、対米関係を<br>主要な課題に意見交換を<br>行い、ROLES との将来<br>の協力関係をめぐる協議<br>を行った。 | 研究会「東<br>欧、中・東<br>欧、バルカ<br>ン諸国の自<br>由・民主主<br>義の帰趨」                    |
| 2024/10/9-<br>16  | ワシントンでの<br>資料収集                   | 市川周佑                        | ワシント<br>ン           | 国立公文書館所蔵 USIS<br>関係資料および関連資<br>料、アメリカにおける公<br>文書の活用事例、第二次<br>大戦・戦後に関する展示<br>見られるアメリカの歴史<br>認識を調査する。                                                                                                        | 研究会「戦<br>後日本外交<br>の歴史的研<br>究」/サブユ<br>ニット「戦<br>後日本政治<br>史検証プロ<br>ジェクト」 |
| 2024/12/14-<br>25 | ワシントンでの<br>資料収集                   | 池宮城陽子                       | ワシント<br>ン           | 国立公文書館所蔵の戦後<br>日米の安全保障関係に関<br>する資料を調査する。                                                                                                                                                                   | 研究会「戦<br>後日本外交<br>の歴史的研<br>究」                                         |

|                   |                 |       |           |                                                |                               |
|-------------------|-----------------|-------|-----------|------------------------------------------------|-------------------------------|
| 2025/1/26-<br>2/1 | ワシントンでの<br>資料収集 | 真栄城拓也 | ワシント<br>ン | 国立公文書館所蔵の沖縄<br>問題を中心とする戦後日<br>米関係の資料を調査す<br>る。 | 研究会「戦<br>後日本外交<br>の歴史的研<br>究」 |
|-------------------|-----------------|-------|-----------|------------------------------------------------|-------------------------------|

2. 機動的かつタイムリーな国内外への発信（インターネット等による広報、公開セミナーの開催を含む）

### イベントのメディア掲載

・9月18日、19日に開催した国際会議「持続的な安全保障とその先：人工知能（AI）の役割」（発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」の研究会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」、研究会「先端科学技術と安全保障」、発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流:日本の安全保障戦略の課題」研究会「紛争解決の理論と実践」、本事業の研究会「言説空間分析の文理横断的方法と応用」との合同事業）について、主筆が開催挨拶にも立つ Aletihad 紙によって、会議前後に以下とおり取り上げられた。

| 日時        | 記事名                                                                                           |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/9/17 | <a href="#">«تريندز» ينظم مؤتمره السنوي الدولي الرابع في اليابان</a>                          |
| 2024/9/19 | <a href="#">خبراء: الذكاء الاصطناعي يقود مستقبل الأمن المستدام</a>                            |
| 2024/9/20 | <a href="#">المؤتمر السنوي الدولي الرابع لـ«تريندز» يبحث الأمن المستدام والذكاء الاصطناعي</a> |

・その他、上記会議に登壇したワシントンの中東研究所(MEI) の戦略技術・サイバーセキュリティ部門長のムハンマド・スレイマーン氏より、本会議への登壇を受け、Foreign Policy Research Institute ウェブサイトに10月17日付で「[Japan: America's Indispensable Ally in the 21st Century](#)」と題する論考が発表された。

・12月2日～8日に実施した第2回徳之島ユースキャンプが、2024年11月27日付奄美群島南三島経済新聞に「徳之島で『国際ユースキャンプ』 ボスニア・韓国・日本の学生が再び集結」（<https://am>

ami-minamisantou.keizai.biz/headline/556/) 、2024 年 12 月 11 日付南海日日新聞に「3 カ国の大学生と交流 戦争の記憶継承テーマに発表も 伊仙町」 (<https://www.nankainn.com/news/education/%EF%BC%93%E3%82%AB%E5%9B%BD%E3%81%AE%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E7%94%9F%E3%81%A8%E4%BA%A4%E6%B5%81%E3%80%80%E6%88%A6%E4%BA%89%E3%81%AE%E8%A8%98%E6%86%B6%E7%B6%99%E6%89%BF%E3%83%86%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%81%AB>) と題する記事でとりあげられた。

・2024 年 12 月 17 日の RCAST セキュリティ・セミナーに登壇したタイのピター元党首による発言が、12 月 19 日付朝日新聞デジタル及び日本経済新聞に取り上げられた。

| 日時         | メディア名        | 記事名                                                      |
|------------|--------------|----------------------------------------------------------|
| 2024/12/19 | 朝日新聞デジタル     | <a href="#">「新しい世代が未来決める」 解党命令のタイ最大野党のピター元党首(有料会員記事)</a> |
| 2024/12/19 | 日本経済新聞       | <a href="#">タイ元最大野党党首ピター氏「首相に立候補したい」</a>                 |
|            |              |                                                          |
| 2025/3/26  | ukrinform.jp | <a href="#">対ウクライナ経済支援継続・対露制裁の強化、日本国民の 4 割強が支持</a>       |

・2024 年 12 月 21 日開催のピチャイ・タイ商務大臣を迎えての講演会について、タイ語メディアにて多数報道された。

| 日時         | メディア名         | 記事名                                                                                                       |
|------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/12/22 | มติชนออนไลน์  | <a href="#">พิชัย บรรยายที่ ม.โตเกียว ย้ำ ปชต.ไทยมั่นคง ส่งผลเสถียรภาพเศรษฐกิจไทยแข็งแกร่ง</a>            |
| 2024/12/21 | มติชนออนไลน์  | <a href="#">พิชัย คยนักลงทุนญี่ปุ่น ขอให้มั่นใจการเมืองไทยภายใต้ รบ.อั้งอั้ง นิ่งแล้ว ศก.เริ่มฟื้นตัว</a> |
| 2024/12/23 | pptvhd36.com  | <a href="#">"พิชัย" ย้ำ ขอนักลงทุนมั่นใจ ! สถานการณ์การเมืองในไทยนิ่งแล้ว</a>                             |
| 2024/12/22 | thai-post.net | <a href="#">'พิชัย' บรรยายที่ ม.โตเกียว คย ปชต.ไทยมั่นคง ชี้นำทเรียนรัฐประหาร10 ปี</a>                    |
| 2024/12/22 | thansettakij  | <a href="#">"พิชัย" พบนักธุรกิจญี่ปุ่น การันตีการเมืองไทยนิ่ง รัฐบาลเปิดรับการลงทุน</a>                   |

ROLES 世論調査プロジェクト（SAFER）実施した[世論調査](#)が、3月26日、ウクライナメディア「ウクルインフォーム（Ukrinform）」で取り上げられた。

| ・日時       | メディア名     | 記事名                                              |
|-----------|-----------|--------------------------------------------------|
| 2025/3/26 | Ukrinform | <a href="#">対ウクライナ経済支援継続・対露制裁の強化、日本国民の4割強が支持</a> |

## **ROLES ウェブサイトを通じた発信**

本事業では、ROLES ウェブサイト (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/>) において、以下のような発信を行っている。

- ・ 日本語版刊行物：「ROLES Commentary」「ROLES Report」
- ・ 英語版刊行物：「ROLES INSIGHTS」
- ・ ジャーナル（日英）：『ROLES Review』
- ・ 日本語版時事解説動画シリーズ：「ROLES Cast」
- ・ 英語版時事解説動画シリーズ：「ROLES Talk」
- ・ その他の動画：YouTube チャンネル「ROLES Channel」(<https://www.youtube.com/@ROLESChannel>) 登録者数 10,016 人
- ・ 各種セミナー・シンポジウムの告知：「イベント」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/event>)
- ・ その他のお知らせ：「ニュース」欄 (<https://roles.rcast.u-tokyo.ac.jp/news>)

また、今年度より、国際政治を理解する上で欠かせない政治制度や歴史事象、主要人物などを取り上げ、その分野を専門とする ROLES メンバーが解説を行うシリーズとして、新たに「**ROLES Lecture**」シリーズを立ち上げ、第1回目は米大統領選挙の仕組みをテーマとして取り上げている。

### **【ROLES Report／Commentary】**

| 作成日       | 刊行物タイトル                                                                   | 分科会                            |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 2024/5/28 | <a href="#">ROLES Commentary No.24 中井遼「リトアニア大統領選挙(2024)が持つ東アジア政治との関係」</a> | 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」 |

|            |                                                                                                                              |                                |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 2024/5/28  | <a href="#">ROLES Commentary No.24 Nakai, Ryo "Lithuania presidential election in 2024 and its implication on East Asia"</a> | 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」 |
| 2024/8/13  | <a href="#">ROLES Commentary No.31 大橋立紀「アイゼンハワー図書館での「リアルな」調査ー2週間の資料調査を経験して」</a>                                              | 「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」    |
| 2024/9/10  | <a href="#">ROLES Commentary No.34-1 金成隆一「トランプ王国」あれから8年 ラストベルト再訪の旅 第1部 揺れ続けるペンシルベニア州</a>                                     | 研究会「自由・民主主義の動揺と再編」             |
| 2024/9/11  | <a href="#">ROLES Commentary No.34-2 金成隆一「トランプ王国」あれから8年、ラストベルト再訪の旅 第2部 オハイオ州北東部の激震地</a>                                      | 研究会「自由・民主主義の動揺と再編」             |
| 2024/10/15 | <a href="#">ROLES Commentary No.35 東野篤子「日本のウクライナ支援の実態とその課題」</a>                                                              | 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」 |
| 2024/10/22 | <a href="#">ROLES REPORT No.32 杉谷直哉「“平和主義者”ダグラス・マッカーサーの実像ー憲法第九条の父をめぐる言説史ー」</a>                                               | 「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」    |
| 2024/10/23 | <a href="#">ROLES Commentary No.34-3 金成隆一「トランプ王国」あれから8年、ラストベルト再訪の旅 第3部 ミシガン州など</a>                                           | 研究会「自由・民主主義の動揺と再編」             |
| 2025/1/17  | <a href="#">真栄城拓也「【資料紹介】仲吉良好「アメリカ軍政府に懇願 沖縄島民は日本復帰を希望す」(1945年8月3日)」(ROLES Commentary No.36)</a>                               | 研究会「戦後日本外交の歴史的研究」              |
| 2025/1/20  | <a href="#">「ロシア・ウクライナ戦争と沸騰する中東との狭間に私たちはいる」アゼルバイジャン大統領補佐官、外交と安全保障を語る</a>                                                     | 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」 |
| 2025/2/13  | <a href="#">ポスト・ポピュリズム時代のトランプ、メローニ、ルペンー違いは何か 政治学者ティボー・ミュゼルク氏インタビュー</a>                                                       | 「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」    |



|           |                                                                                                              |                             |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 2025/2/15 | <a href="#">Trump, Meloni, Le Pen...Différences à l'ère post-populisme : Interveiw de Thibault Muzergues</a> | 「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」 |
| 2025/3/3  | <a href="#">藤田吾郎「戦後日本の外交史・安全保障政策史研究と地方新聞」 (ROLES Commentary No.43)</a>                                       | 研究会「戦後日本外交の歴史的研究」           |
| 2025/3/3  | <a href="#">濱砂孝弘「書評 竹内桂著『三木武夫と戦後政治』吉田書店、2023 年」 (ROLES Commentary No.44)</a>                                 | 研究会「戦後日本外交の歴史的研究」           |
| 2025/3/30 | <a href="#">池宮城陽子「米海兵隊の沖縄移駐前史に関する予備的考察：旧大阪市立大学返還問題を事例に」 (ROLES REPORT No.39)</a>                             | 研究会「戦後日本外交の歴史的研究」           |

### 【ROLES Channel】

| 作成日        | 動画タイトル                                                                      | 視聴再生回数 |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------|
| 2024/7/31  | <a href="#">シンポジウム「戦時下のウクライナで人々は何を見、感じているのか」</a>                            | 10,926 |
| 2024/12/21 | <a href="#">ピチャイ・タイ商務大臣による来日講演「21 世紀のタイの政治と経済：ペートンタン政権の政策の方向性」 (日本語字幕付)</a> | 205    |

### 【ROLES Talk】

| 作成日        | 動画タイトル                                | 視聴再生回数 |
|------------|---------------------------------------|--------|
| 2024/8/26  | <a href="#">ROLES Talk ～写真で語る #1～</a> | 1,082  |
| 2024/10/16 | <a href="#">ROLES Talk ～写真で語る #2～</a> | 417    |

### 【ROLES Lecture】

| 作成日      | 動画タイトル                                             | 視聴再生回数 |
|----------|----------------------------------------------------|--------|
| 2024/5/1 | <a href="#">【ROLES Lecture #1 前編】アメリカ大統領選挙の仕組み</a> | 5,270  |
| 2024/5/3 | <a href="#">【ROLES Lecture #1 後編】アメリカ大統領選挙の仕組み</a> | 4,442  |

## 【その他】

広報用資料として、昨年度作成した ROLES パンフレットを改訂した。

本事業の実施内容に基づいた年報「インド太平洋における自由民主主義の現在」を刊行した。

| 作成日       | 刊行物タイトル                                 |
|-----------|-----------------------------------------|
| 2025/3/27 | <a href="#">年報「インド太平洋における自由民主主義の現在」</a> |

また、日本の外交や安全保障、日本をとりまく国際情勢について人々がどのように考えているのかを明らかにすべく世論調査を行い、その成果を以下の通り日本語・英語で公表した。

| 作成日        | 刊行物タイトル                                                                                                           |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/10/2  | <a href="#">UTokyo ROLES Survey – Oct 2024</a>                                                                    |
| 2024/10/2  | <a href="#">東京大学 ROLES 世論調査 - 2024 年 10 月号</a>                                                                    |
| 2024/12/30 | <a href="#">ROLES NEWSLETTER No.1 (2024 年 12 月)</a>                                                               |
| 2025/1/31  | <a href="#">ROLES NEWSLETTER No.2 (2025 年 1 月)</a>                                                                |
| 2025/2/13  | <a href="#">ポスト・ポピュリズム時代のトランプ、メローニ、ルペン—違いは何か 政治学者ティボ<br/>ー・ミュゼルグ氏インタビュー</a>                                       |
| 2025/2/15  | <a href="#">Trump, Meloni, Le Pen...Différences à l'ère post-populisme : Interveiw de Thibault Muz<br/>ergues</a> |
| 2025/2/28  | <a href="#">ROLES NEWSLETTER No.3 (2025 年 2 月)</a>                                                                |
| 2025/3/14  | <a href="#">UTokyo ROLES Survey – Mar 2025</a>                                                                    |
| 2025/3/14  | <a href="#">東京大学 ROLES 世論調査 - 2025 年 3 月号</a>                                                                     |

## 国内向け公開セミナーの開催

今年度開催した国内向け公開セミナー（日本語で開催したもの）の開催実績は以下の通り。

| 日時       | イベント名                                     | 講演者（所属）                      | 形式 | 事前<br>登録 | 当日<br>参加 | 共催機<br>関 | 実施研<br>究会        |
|----------|-------------------------------------------|------------------------------|----|----------|----------|----------|------------------|
| 2024/9/2 | <a href="#">RCAST セキュリ<br/>ティー・セミナー「米</a> | 渡辺将人（慶應義塾大学総<br>合政策学部准教授）、池内 | 対面 | 31       | 15       |          | 研究会<br>「自<br>由・民 |

|            |                                                                                          |                                                              |    |    |    |                         |                                                                                  |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
|            | <a href="#">大統領選の動向と米<br/>国社会」</a>                                                       | 恵（東京大学先端科学技術<br>研究センター教授）                                    |    |    |    |                         | 主主義<br>の動揺<br>と再<br>編」                                                           |
| 2024/12/22 | 東京大学 ROLES・<br>島根大学教育学部共<br>催パブリックセミナ<br>ー<br>「激動の世界と日米<br>関係ーどのような世<br>界が待っているのか<br>ー」  | 石本凌也（東京大学先端科<br>学技術研究センター 特任<br>研究員）<br>池松辰男（島根大学教育学<br>部講師） | 対面 | 0  | 0  | 島根大<br>学教育<br>学部        | 研究会<br>「自<br>由・民<br>主主義<br>の動揺<br>と再<br>編」                                       |
| 2025/1/24  | <a href="#">（共催）関西日米交<br/>流フォーラム 1月<br/>例会「1955年重光<br/>訪米の再検討ーその<br/>全体像を中心とし<br/>て」</a> | 鍛冶一郎（東京大学先端科<br>学技術研究センター・特任<br>研究員）                         | 対面 | -  | 17 | 関西日<br>米交流<br>フォー<br>ラム | 研究会<br>「戦後<br>日本外<br>交の歴<br>史的研<br>究」                                            |
| 2025/1/30  | <a href="#">合評会「玉置敦彦<br/>『帝国アメリカがゆ<br/>ずるときー譲歩と圧<br/>力の非対称同盟』」</a>                       | 小宮京（青山学院大学）<br>玉置敦彦（中央大学）<br>泉川泰博（青山学院大学）<br>高橋慶吉（大阪大学）      | 対面 | 26 | 28 |                         | 研究会<br>「日本<br>の価値<br>観外交<br>の検証<br>と再構<br>築」/<br>サブユ<br>ニット<br>「国際<br>政治と<br>リーダ |

|           |                                                                              |                                                                                       |    |     |    |                                                                                               |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
|           |                                                                              |                                                                                       |    |     |    | ーシッ<br>プ」<br>研究会<br>「戦後<br>日本外<br>交の歴<br>史的研<br>究                                             |
| 2025/2/25 | <a href="#">東京大学 ROLES 世<br/>論調査プロジェクト<br/>報告 日本人の世論<br/>にみる外交・安全保<br/>障</a> | 合六強（二松学舎大学）、<br>飯田健（同志社大学）、小<br>泉悠（東京大学）、中井遼<br>（東京大学）、鍛冶一郎<br>（東京大学）、三牧聖子<br>（同志社大学） | 対面 | 143 | 87 | 研究会<br>「言説<br>空間分<br>析の文<br>理横断<br>的方法<br>と応<br>用」/<br>サブユ<br>ニット<br>「世論<br>調査プ<br>ロジェ<br>クト」 |

## **ROLES メンバーのメディア出演、メディア・ジャーナル寄稿実績**

※ROLES 所属の教授・准教授・助教・研究員によるメディア出演及びメディア・ジャーナル寄稿実績  
実績は以下のとおり。

なお、ROLES は発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構  
想と研究能力の抜本的強化」及び「国際理念と秩序の潮流 日本の安全保障戦略の課題」も実施して  
いるが、事業別に出演実績を切り分けることは困難なため、上記 2 事業の実績報告書にも同様に記載  
している。

① 池内恵 教授

| 日付        | メディア媒体              | 番組名・記事タイトル                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/4/20 | BS テレ東              | 日経プラス9 サタデー【イスラエルV S イラン 報復の連鎖に歯止めは？】                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2024/4/20 | 日本経済新聞              | 中東情勢で対話路線の日本、米欧はイラン追加制裁探る G7 外相（会員有料記事）                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 2024/4/28 | BS 朝日               | 緊迫する中東情勢…対立と攻撃の連鎖に何が？   激論!クロスファイア                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2024/5/5  | 信濃毎日新聞デジタル          | ガザ紛争、崩れる西側の論理 池内恵氏（東京大先端科学技術研究センター教授）（会員有料記事）                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 2024/8/3  | BS テレ東              | 日経サタデー▼ニュースの疑問【暗殺・報復で中東緊迫▽波乱相場を緊急解説！】                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2024/9/1  | 信濃毎日新聞デジタル          | ガザ紛争で揺らぐ外交戦略 池内恵氏（東京大先端科学技術研究センター教授）〈多思彩々〉                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 2024/9/17 | Aletihad Newspaper  | From Tokyo to Jakarta: TRENDS Asia tour explores AI and sustainable security                                                                                                                                                                                                                                        |
| 2024/9/17 | Aletihad Newspaper  | «تريندز» ينظم مؤتمره السنوي الدولي الرابع في اليابان                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 2024/9/18 | Aletihad Newspaper  | At the University of Tokyo, TRENDS' Fourth Annual Conference on "Sustainable Security and AI" gets underway                                                                                                                                                                                                         |
| 2024/9/18 | صحيفة الخليج        | انطلاق أعمال مؤتمر تريندز عن «الأمن المستدام والذكاء الاصطناعي»   صحيفة الخليج                                                                                                                                                                                                                                      |
| 2024/9/18 | wam.ae              | أكد خبراء وأكاديميون وباحثون أهمية وضع إطار عمل عالمي شامل لحوكمة الذكاء الاصطناعي، يغطي الجوانب الأخلاقية والقانونية والاجتماعية، مشددین على ضرورة تعزيز التعاون الدولي في تطوير معايير مشتركة تضمن استخدام هذه التقنية بشكل مسؤول. جاء ذلك في مداخلات اليوم الأول من المؤتمر السنوي الدولي الرابع لمركز تريندز... |
| 2024/9/18 | شبكة أخبار الإمارات | انطلاق أعمال مؤتمر تريندز السنوي الرابع حول "الأمن المستدام والذكاء الاصطناعي" - شبكة أخبار الإمارات                                                                                                                                                                                                                |
| 2024/9/19 | Aletihad Newspaper  | TRENDS' 4th Annual International Conference concludes two days of discussions on security and AI                                                                                                                                                                                                                    |
| 2024/9/19 | Aletihad Newspaper  | خبراء: الذكاء الاصطناعي يقود مستقبل الأمن المستدام                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2024/9/19 | شبكة أخبار الإمارات | عُقد بالتعاون مع جامعة طوكيو المؤتمر السنوي الدولي الرابع لـ"تريندز" يختتم يومين من المناقشات حول الأمن المستدام والذكاء الاصطناعي - شبكة أخبار الإمارات                                                                                                                                                            |

|            |                            |                                                                                                       |
|------------|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/9/20  | Aletihad Newspaper         | المؤتمر السنوي الدولي الرابع لـ«تريندز» يبحث الأمن المستدام والذكاء الاصطناعي                         |
| 2024/9/20  | trendsresearch.org         | «تريندز» وجامعة طوكيو يوقعان اتفاقية تعاون لتعزيز البحث العلمي                                        |
| 2024/9/20  | Al-Bayan                   | مؤتمر «تريندز» يناقش الأمن المستدام والذكاء الاصطناعي                                                 |
| 2024/9/20  | جريدة الوطن                | المؤتمر السنوي الدولي الرابع لـ«تريندز» يختتم يومين من المناقشات حول الأمن المستدام والذكاء الاصطناعي |
| 2024/9/20  | 日本経済新聞                     | アラブ首長国連邦やサウジアラビア、オイルマネーをAIへ 編集委員<br>久門武史                                                              |
| 2024/9/21  | Aletihad Newspaper         | تعاون بين «تريندز» وجامعة طوكيو                                                                       |
| 2024/9/21  | Aletihad Newspaper         | TRENDS launches its 9th global office in Tokyo                                                        |
| 2024/9/21  | جريدة الوطن                | «تريندز» وجامعة طوكيو يوقعان اتفاقية تعاون لتعزيز البحث العلمي                                        |
| 2024/9/21  | جريدة الوحدة - جريدة يومية | «تريندز» ي دشّن مكتبه التاسع عالمياً في «طوكيو» - جريدة الوحدة                                        |
| 2024/9/21  | جريدة الوحدة - جريدة يومية | «تريندز» وجامعة طوكيو يوقعان اتفاقية تعاون لتعزيز البحث العلمي - جريدة الوحدة                         |
| 2024/9/21  | BS テレ東                     | 日経サタデー▼ニュースの疑問【中東ポケベル爆発の謎…イスラエルどう動く？】                                                                 |
| 2024/11/6  | PHP 総研                     | 『Voice』2024年12月号▼宗教が動かす国際政治                                                                           |
| 2024/11/16 | 日本経済新聞                     | 米共和「トリプルレッド」 小野亮さんと Think!                                                                            |
| 2024/12/1  | 信濃毎日新聞デジタル                 | 中東の紛争、鍵を握る周辺の地域大国 「取引」重視のトランプ政権発<br>足へ 池内恵（東京大先端科学技術研究センター教授）〈多思彩々〉                                   |
| 2024/12/19 | 政策シンクタンク PHP<br>総研         | 2025年版 PHP グローバル・リスク分析                                                                                |
| 2024/12/19 | NIKKEI ASIA                | Thailand's Pita keen to return as PM candidate after political ban                                    |
| 2024/12/23 | 公研                         | 「シリアをめぐる闘争」は続く【池内恵】                                                                                   |
| 2025/1/20  | 慶應戦略構想センター                 | コメンタリー集『KCS Strategic Foresight 2025』池内恵「中東」                                                          |
| 2025/1/31  | 外交 WEB                     | 『外交』Vol.89 Jan./Feb. 2025▼中東秩序再編 主導権握るイスラエル<br>(PDF 閲覧あり)                                             |
| 2025/2/13  | 新潮社 Foresight              | 「12月8日」のシリア内戦終結と新たな中東地域秩序への闘争（※会員<br>有料記事）                                                            |

② 小泉悠 准教授

| 日付        | メディア媒体          | 番組名・記事タイトル                                                                                           |
|-----------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/4/3  | The Japan Times | Negotiating with Putin now won't end the war                                                         |
| 2024/4/4  | 経済界ウェブ          | 日本の軍事力の欠点は兵器の生産・復帰能力 小泉 悠                                                                            |
| 2024/4/4  | BS フジ           | プライムニュース▼【小泉悠×東野篤子×鶴岡路人】 ウクライナ戦争と欧州の苦悩 2024/4/4 放送＜後編＞                                               |
| 2024/4/8  | 共同通信            | ロシア北極圏で核実験の準備進行 衛星画像、「臨界前」の可能性                                                                       |
| 2024/4/9  | BS 日テレ          | 【深層 NEWS】米外交官ら健康被害訴える「ハバナ症候群」に新事実か 露軍 GRU「29155 部隊」関与の報道「非致命的音響兵器」使用か “暗殺”疑惑 飛び交うロシアの闇を小泉悠×小谷哲男が徹底分析 |
| 2024/4/10 | 産経新聞            | ロシア北極圏で核実験の準備進行 小泉悠氏が衛星画像を分析、露の意図を「欧米への威嚇」（※会員有料記事）                                                  |
| 2024/4/10 | ABEMA           | ABEMA Prime▼日米首脳会談 防衛費増強より大事なものは“日本ブランド”安保戦略のあり方                                                     |
| 2024/4/11 | ニッポン放送          | 飯田浩司の OK! Cozy up! ▼東大先端科学技術研究センター准教授、軍事評論家 小泉悠                                                      |
| 2024/4/14 | BS 朝日           | 日曜スクープ▼防戦のウクライナ追加支援は届くのか 砲弾枯渇の“危機”大統領が抱く警戒感とは？                                                       |
| 2024/4/15 | BS フジ           | 【どう動く？イスラエル“反撃”】イラン報復攻撃で中東緊迫 小泉悠×小原凡司×黒井文太郎 2024/4/15 放送＜前編＞                                         |
| 2024/4/22 | 毎日新聞            | 小泉悠さんが語る 第1回 ロシア、ウクライナ、国際社会の誤算                                                                       |
| 2024/4/25 | 北羽新報社           | 橋本五郎文庫で27日に開設13周年イベント 著名人十数人がトーク                                                                     |
| 2024/4/26 | BS 日テレ          | 深層NEWS▽米国ウクライナ支援再開で戦況どう変わる？追加予算9兆円超の本気度は？長射程 ATACMS はすでに供与も▽“プリゴジン氏”登場ゲームとは▽小泉悠×兵頭慎治×小谷哲男            |
| 2024/4/30 | BS フジ           | プライムニュース▼【小泉悠 ×岩田清文】ウクライナ最新戦況 米国の ATACMS 供与で戦況は 【問一髪でアメリカの支援間に合う？】2024/4/30 放送＜後編＞                   |
| 2024/5/1  | BS-TBS          | 9兆円超 アメリカが支援再開 透けて見える次の対ロシア戦略とは【5月1日（水）#報道1930】                                                      |

|           |                     |                                                                                                             |
|-----------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/5/4  | 朝日新聞デジタル            | 泥沼のウクライナ戦争、ロシア軍に取り付く「亡霊」小泉悠さんに聞く（※<br>会員有料記事）                                                               |
| 2024/5/5  | 毎日新聞                | 海自ヘリ墜落 訓練の背景に静かな潜水艦 ロシア研究・小泉悠氏（※会員<br>有料記事）                                                                 |
| 2024/5/7  | PHP                 | Voice 2024 年 6 月号 不思議の国・ロシア 「戦争と暴力の本質は変わらない」小谷 賢&小泉 悠&先崎彰容                                                  |
| 2024/5/7  | BS フジ               | プライムニュース▼【最新ウクライナ戦況】露軍が拠点制圧か 遠藤良介×<br>小泉悠 2024/5/7 放送<前編>                                                   |
| 2024/5/8  | ニッポン放送              | 飯田浩司の OK! Cozy up! ▼2024 年 5 月 8 日（水）コメンテーター：小泉<br>悠                                                        |
| 2024/5/8  | BS 日テレ              | 【深層 NEWS】石川一洋×小泉悠が分析 プーチン大統領が通算 5 期目の就<br>任式「侵攻の正当性」西側との対話「対等な条件」強調▽新内閣若返り？国<br>防相の処遇は▽戦術核演習の指示も「核の威嚇」思惑は   |
| 2024/5/10 | 軍事研究                | 軍事研究 2024 年 6 月号 「無人化する露軍の長距離攻撃能力」 小泉 悠                                                                     |
| 2024/5/11 | 朝日放送テレビ             | 教えて！ニュースライブ 正義のミカタ   ABC テレビ 5 月 11 日（土）朝<br>9:30-11:00（出演）                                                 |
| 2024/5/12 | テレ朝 NEWS            | 【ロシア軍がハルキウ州で地上作戦】防御線突破で“越境攻撃”緩衝地帯の設<br>置が狙いか【日曜スクープ】（2024 年 5 月 12 日）                                       |
| 2024/5/12 | テレ朝 NEWS            | 【プーチン氏“核部隊は臨戦態勢”】欧州が抱く危機感…ウクライナ支援は新<br>段階へ【日曜スクープ】（2024 年 5 月 12 日）                                         |
| 2024/5/15 | BS フジ               | プライムニュース▼【小泉悠×小谷哲男×熊倉潤】プーチン 5 期目就任初の<br>外遊先に中国 狙いは 2024/5/15 放送<前編>                                         |
| 2024/5/16 | BS 日テレ              | 【深層 NEWS】プーチン氏が大統領就任直後に訪中し習主席と会談…ウクラ<br>イナ侵攻で連携狙いか▽“スパイ天国”日本で中露スパイ暗躍の実態「オウム<br>真理教」背後にロシアの影▽前国家安保局長・北村滋×小泉悠 |
| 2024/5/21 | BS-TBS              | 石破 茂×小泉悠 北方領土にロシア軍 “新冷戦”日本の安全保障の重要課<br>題【5 月 21 日(火)#報道 1930】                                               |
| 2024/5/22 | 一般財団法人 中東協<br>力センター | 中東協力センターニュース 2024 年 5 月号▼小泉悠「ロシアの中東戦略とウ<br>クライナ戦争のインパクト」                                                    |
| 2024/5/24 | TBS NEWS DIG        | 石破茂×小泉悠 この国に何が足りないのか【報道 1930】                                                                               |



|           |                |                                                                                                    |
|-----------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/6/4  | BS-TBS         | 戦争の転換点か？ウクライナ軍 米供与の兵器でロシア領攻撃の舞台裏【6月4日(火)#報道 1930】                                                  |
| 2024/6/6  | BS フジ          | プライムニュース▼【小泉悠×稲葉義泰】ウクライナ最新戦況 NATO 諸国が「越境攻撃」容認 【露の早期警戒レーダーを攻撃？】2024/6/6 放送＜前編＞                      |
| 2024/6/13 | BS 日テレ         | 【深層 NEWS】兵頭慎治×小泉悠が分析▽ウクライナ軍が防空システム相次ぎ攻撃、露軍が迎撃できないワケ▽露軍“戦術核”演習第二段階へ…謎の「トラック車列」登場の背景▽プーチン大統領の娘の意外な過去 |
| 2024/6/14 | BS-TBS         | 報道 1930▼G 7 サミット・ウクライナ軍支援は「新段階」？ウ大統領府長官語る「無人軍新設」の実態は？▼核使用のきっかけは？プーチン氏が胸で十字切る真意とは？                  |
| 2024/6/14 | 朝日新聞出版         | 月刊 ジュニアエラ 2024 年 7 月号▼なぜなくせないの？                                                                    |
| 2024/6/15 | ABC テレビ        | 教えて！ニュースライブ 正義のミカタ（出演）                                                                             |
| 2024/6/19 | BS 日テレ         | 【深層 NEWS】プーチン氏 24 年ぶり訪朝“ドライブ会談”▽首脳会談で“侵略された場合は相互支援”新条約署名▽衛星画像で分析…露朝“密輸ルート”武器運搬か▽“蜜月”北が狙うロシア軍事技術    |
| 2024/6/25 | spiegel.de     | (S+) Asien: Sicherheitsexperte Yu Koizumi über die russische Bedrohung                             |
| 2024/6/25 | 東京新聞 TOKYO Web | ウクライナで即時停戦には「反対」 軍事研究家・小泉悠氏「ロシアに主権奪取を諦めさせなくては」                                                     |
| 2024/6/26 | 共同通信           | ロシア極東、極北のミサイル移動 ウクライナ戦に転用か、衛星画像                                                                    |
| 2024/6/26 | BS-TBS         | ウクライナ戦争の緊迫 アジアへ？プーチン氏受け入れ ベトナムの本当の狙い【6月26日（水）#報道 1930】                                             |
| 2024/6/27 | BS フジ          | プライムニュース▼【小泉悠×鶴岡路人】ウクライナ最新戦況 ウクライナ軍がクリミアの宇宙通信施設を攻撃か 【米供与 ATACMS 投入の波紋】2024/6/27 放送＜前編＞             |
| 2024/6/27 | BS フジ          | プライムニュース▼【小泉悠&鶴岡路人が解説】露韓の緊張は日本にどう影響？【露朝新条約をどう解釈？】 2024/6/27 放送＜後編＞                                 |
| 2024/7/2  | MBS ラジオ        | 上泉雄一のええなあ！▼小泉悠「ロシアプーチン政権、ロシア国民はどう評価している？」「ウクライナ侵攻はいつまで続くのか？」「ロシアと北朝鮮、パートナーシップ条約の影響」「日本の安全保障の課題」    |

|           |                  |                                                                                                       |
|-----------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/7/4  | PRESIDENT Online | 「アメリカの同盟国だから、中国は日本を攻撃しない」は甘い…ロシア・ウクライナ戦争でわかった「核抑止」の現実 核を持たぬ小国が犠牲になる「安定・不安定パラドックス」                     |
| 2024/7/4  | 産経新聞             | 7月4日産経新聞▼正論 小泉悠「露朝『同盟』の背景を読み解く」                                                                       |
| 2024/7/5  | 新潮社 Foresight    | 中国「謎の巨大工事」を合成開口レーダーで透視した――核の「最小限抑止」戦略は変わったか：小泉悠                                                       |
| 2024/7/5  | PRESIDENT Online | プーチンの本当の狙いはウクライナの領土ではない…小泉悠「ロシアの軍需工場を狙わないと最悪の結末になる」放っておけば「ロシア完全勝利」にどんどん近づく                            |
| 2024/7/7  | 韓国『東亜日報』         | “북러 조약은 ‘동상이몽’ 혼인신고서…러, 동맹 격상 안할 것”                                                                   |
| 2024/7/9  | BS-TBS           | ”もしトラ”で和平圧力か/危機感強める NATO のトランプ対策とは【7月9日（火）#報道 1930】                                                   |
| 2024/7/10 | 中央公論新社           | 中央公論 2024年8月号▼北岡伸一×小泉 悠「アメリカの問題、現実的な停戦ライン……歴史的視座から考えるウクライナ戦争」                                         |
| 2024/7/10 | 軍事研究             | Japan Military Review「軍事研究」：軍事研究 2024年8月号▼「第五期プーチン政権」大物排除の国防人事                                        |
| 2024/7/14 | 東京新聞 TOKYO Web   | 新たな戦場は「人の脳」 ディープフェイクで対立あおり分断 国が不満や不正を放置すれば「弱点」に                                                       |
| 2024/7/16 | 東京新聞 TOKYO Web   | 軍事研究家・小泉悠氏が「人の脳が戦場になる」解説 「信じない人」が狙われる<認知戦インタビュー詳報>                                                    |
| 2024/7/24 | NHK BS           | 国際報道 2024▼ロシアの核戦略を巡る動きが活発化 OSINT で迫る                                                                  |
| 2024/7/25 | 公益財団法人 日本証券経済研究所 | 定期刊行物】証券レビュー第64巻第7号(2024年7月)▼小泉悠：講演「大統領選挙後のロシア政治・外交の行方について」                                           |
| 2024/7/26 | BS 日テレ           | 【深層 NEWS】ゼレンスキー氏が対露交渉示唆も米大統領戦影響か▽露軍1日6km驚異的前進…縦横無尽「バイク部隊」とは▽露軍の武器庫全壊…ウクライナ軍が無人機攻撃▽モスクワ爆発事件の瞬間…露軍将校狙いか |
| 2024/7/27 | 講談社              | トランプ再選で「来年中にウクライナは敗北」し、ロシアの「属国」になる（週刊現代）                                                              |
| 2024/7/31 | BS フジ            | プライムニュース▼【小泉悠×鈴木一人×伊藤融】ウクライナ戦争 インドの本音は 2024/7/31 放送<前編>                                               |

|           |                          |                                                                                                        |
|-----------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/7/31 | BS フジ                    | プライムニュース▼【実利を優先するのは当たり前？】全方位&実利主義インド外交の功罪 小泉悠×鈴木一人×伊藤融 2024/7/31 放送<後編>                                |
| 2024/7/31 | Numero TOKYO             | 小泉 悠×リサタニムラ×シャラ ラジマ鼎談：映画を見て、戦争と平和について考えてみよう                                                            |
| 2024/7/31 | ニッポン放送                   | 飯田浩司の OK! Cozy up ! ▼2024 年 7 月 31 日（水）コメンテーター： 小泉悠                                                    |
| 2024/8/1  | BS 日テレ                   | 【深層 NEWS】衛星画像で分析…中露が北極圏共同偵察飛行、中国「氷上シルクロード」構想も北極圏めぐる中露の戦略▽米独長距離ミサイル配備計画 プーチン氏「冷戦時代をほうふつ」露ミサイル配備「欧米も射程内」 |
| 2024/8/2  | South China Morning Post | Chinese Y-20 planes seen at Russian airport on same day as patrol near Alaska                          |
| 2024/8/6  | BS-TBS                   | 衛星画像が捉えた中国核戦力の増強加速 「第3の核時代」の"相互確証破壊"とは【8月6日(火)#報道 1930】                                                |
| 2024/8/7  | BS フジ                    | プライムニュース▼【欧州戦闘機が初の同時展開 その実力は】"軍事マニア・小泉悠"が見た日欧訓練 佐藤丙午×小泉悠×張雲 2024/8/7 放送<前編>                            |
| 2024/8/7  | BS フジ                    | プライムニュース▼【小泉悠×佐藤丙午×張雲】ロシアが中距離核配備？増大する核の脅威 2024/8/7 放送<後編>                                              |
| 2024/8/11 | テレ東                      | 池上彰の戦争を考える S P 2 0 2 4 なぜ、世界から戦争はなくなるのか                                                                |
| 2024/8/14 | AERA with Kids +         | 「戦争はなぜ起きるの？」子どもたちの疑問に軍事の専門家はどうか？人間が戦争をする“3つの理由”とは                                                      |
| 2024/8/21 | BS フジ                    | プライムニュース◆岩田元陸幕長×小泉悠 ウ軍“露領への進軍”を軍事解析                                                                    |
| 2024/8/22 | BS-TBS                   | ロシア領進攻の影響は／徴集兵が捕虜に…プーチン氏の足元揺らぐ？【8月22日（木）#報道 1930】                                                      |
| 2024/8/22 | テレビ朝日                    | 8/22 放送羽鳥慎一モーニングショー▼「戦争開始直後 ウクライナ、ロシア 和平交渉で決裂…今後の着地点は」                                                 |
| 2024/8/27 | NHK                      | ニュース 7 ▼ロシアの大規模攻撃 狙いは 今後の焦点は                                                                           |
| 2024/8/30 | ニッポン放送                   | 飯田浩司の OK ! Cozy up ! ▼灼熱の W コメンテーターウィーク                                                                |

|           |                 |                                                                                                        |
|-----------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/9/10 | 軍事研究            | 軍事研究 2024 年 10 月号▼脅しをかけるロシアとその対抗措置「極東巻き込む米露中距離ミサイル危機」 INF の破棄から五年、米露は中距離核ミサイルの配備再開に踏み切る。そのオプションとは？     |
| 2024/9/13 | BS 日テレ          | 【深層 NEWS】「空飛ぶチェルノブイリ」小型原子炉搭載巡航ミサイル「ブレベスニク」配備地点が衛星画像で明らかに…射程距離は理論上「無限」ロシア「核の威嚇」メッセージか                   |
| 2024/9/13 | 毎日新聞            | 論点：戦争研究者と先の大戦                                                                                          |
| 2024/9/17 | ニッポン放送          | 飯田浩司の OK! Cozy up!▼軍事評論家 小泉悠                                                                           |
| 2024/9/19 | BS フジ           | プライムニュース▼【小泉悠×高田克樹×鶴岡路人が緊急分析】 ウクライナ「勝利計画」の中身 2024/9/19 放送＜前編＞                                          |
| 2024/9/24 | BS 日テレ          | 【深層 NEWS】ロシア軍機が領空侵犯で空自が初のフレア警告▽3 度の領空侵犯“ジグザグ旋回”狙いは▽総裁選候補が言及…厳しい声も▽ゼレンスキー氏「勝利計画」4 つのポイント…ウクライナ戦術に変化は    |
| 2024/9/24 | 日本経済新聞          | 小泉悠氏、ロシアの領空侵犯「中ロ艦艇の航行と関係」 （会員有料記事）                                                                     |
| 2024/9/25 | 株式会社潮書房光人<br>新社 | 月刊雑誌「丸」2024 年 11 月号▼“人類破滅装置”ソ連弾道ミサイル潜水艦分析 東京大学先端科学技術研究センター准教授 小泉悠                                      |
| 2024/9/25 | 季刊高知            | 季刊高知 94 号▼ジャイアント★インタビュー東京大学 先端科学技術研究センター准教授 軍事アナリスト 小泉悠さん                                              |
| 2024/9/27 | プレジデント          | プレジデント 2024 年 10/18 号（2024 年 09 月 27 日発売）6 大分野別クイズ「バカの壁」▼ウクライナ戦争はなぜ終わらないのか……プーチンが悪い or ゼレンスキーが悪い——小泉 悠 |
| 2024/9/28 | NHK             | サタデーウオッチ 9 ▼北朝鮮脅威！ミサイル実戦で                                                                              |
| 2024/10/3 | 新潮社             | 週刊新潮▼元 NHK 岩田明子の貴方にスポットライト 小泉 悠 東京大学准教授                                                                |
| 2024/10/6 | 読売テレビ           | そこまで言って委員会 N P 米中露韓を徹底解剖！世界の気になるニュース S P                                                               |
| 2024/10/7 | BS フジ           | プライムニュース▼【最新“露ウ戦線”予想外の撤退戦】新たな動きを見せる露ウ両軍の地上戦を読み解く 山下裕貴×小泉悠 2024/10/7 放送＜前編＞                             |
| 2024/10/7 | 産経新聞            | ＜正論＞石破政権は現実的対露外交貫け 東京大学先端科学技術研究センター准教授、小泉悠（※会員有料記事）                                                    |

|            |                      |                                                                                                               |
|------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/10/11 | BS-TBS               | 石破総理の"安全保障"改革/「アジア版 NATO」が伝えたメッセージとは<br>【10月11日(金)#報道1930】                                                    |
| 2024/10/12 | 毎日新聞                 | 核軍縮に逆風下、被団協のノーベル平和賞は「意義大」 小泉悠氏                                                                                |
| 2024/10/13 | BS11                 | 【定点観測・大統領選】第2回 大詰め大統領選！ 中国、ロシアは？（10月13日放送）笹川平和財団のスペシャリストが、大統領選を徹底解説！<br>▼出演：兼原信克、小泉悠 山上信吾 上野愛奈 BS11           |
| 2024/10/17 | BS-TBS               | 北朝鮮・中東情勢にロシアの影／ウクライナで劇的進化 ドローンとAIの<br>「新たな戦争」 【10月17日(木)#報道1930】                                              |
| 2024/10/18 | ニッポン放送               | 飯田浩司のOK!Cozy up! ▼2024年10月18日（金）コメンテーター：小泉悠                                                                   |
| 2024/10/22 | War on the Rocks     | Russian Pacific Fleet Redux: Japan's North as a New Center of Gravity -<br>War on the Rocks                   |
| 2024/10/23 | BS フジ                | プライムニュース▼【兵頭慎治×東野篤子×小泉悠】ウクライナ勝利計画の<br>現実味 2024/10/23 放送＜前編＞                                                   |
| 2024/10/26 | N1                   | Sigurnosni strahovi u sigurnom Japanu                                                                         |
| 2024/10/27 | テレ東・BSテレ東<br>7ch(公式) | 集まれ！総選挙ライブ【20人の出演者が選挙を語り 政治家に問う選挙特<br>番】                                                                      |
| 2024/11/9  | ABC テレビ              | 教えて！ニュースライブ 正義のミカタ▼◇露朝 ロシアが北朝鮮兵に武器<br>供与！？そしてロシア西部に派兵？！ロシア・北朝鮮は今後トランプ氏とど<br>のような関係を築いていく？（出演）                 |
| 2024/11/9  | 月刊軍事研究               | 軍事研究 2024年12月号▼ロシア、北極圏で核実験再開か!?唯一の核実験<br>場ノーヴァヤ・ゼムリャー島で進む大規模な建設工事、プーチンの企みとは<br>小泉悠                            |
| 2024/11/15 | BS 日テレ               | 【深層 NEWS】ロシア映画会社が軍に戦車提供▽北朝鮮自走砲も移送…北朝<br>鮮兵派兵の実態▽プーチン氏とトランプ氏“電話会談”報道をロシアが否定な<br>ぜ▽2か月で死傷者8万人超…損失甚大も戦果急ぐプーチン氏思惑 |
| 2024/11/21 | 読売新聞                 | ロシアがわずか1000km先にICBM発射情報、アメリカへ「核攻撃いといわ<br>ない」警告か                                                               |
| 2024/11/22 | 産経新聞                 | <正論>トランプ政権とウクライナ支援 東京大学先端科学技術研究センタ<br>ー准教授・小泉悠（※有料会員記事）                                                       |

|            |              |                                                                                                            |
|------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/11/25 | BS フジ        | プライムニュース▼ロシア新型ミサイルの衝撃!米欧支援加速でウ軍巻き返しは?                                                                      |
| 2024/11/29 | 月刊軍事研究       | 「軍事研究」2025 年 1 月号 別冊▼ロシアの継戦能力は何故尽きないのか…小泉悠                                                                 |
| 2024/11/29 | BS 日テレ       | 深層NEWS▽「欧州諸国の派兵議論か」仏有力視報じる。NATO が抱く危機感とは                                                                   |
| 2024/12/6  | 潮書房光人新社      | 軍事専門家・小泉悠が警告…! 2025 年、日本と世界が直面する「大規模戦争の危ない現実」と「日本の安全保障のリスク」                                                |
| 2024/12/6  | 言論テレビ        | ウ戦争再び激化! 停戦の駆け引き鮮烈 トランプ『就任 24H で戦争は終わらせる』                                                                  |
| 2024/12/12 | NHK          | 国際報道 2024▼「ロシアの核 日本近海の“戦力”増強」 衛星画像などの分析から、ロシアのカムチャツカ半島に軍の施設が次々に増強されている実態が明らかに 東京大学の #小泉悠 准教授や海上自衛隊元海将と読み解く |
| 2024/12/12 | BS フジ        | 【小泉 悠×黒井文太郎×ジョセフ・クラフト】反政府勢力「シリア解放機構」とは 2024/12/12 放送<前編>                                                   |
| 2024/12/16 | ニッポン放送       | 飯田浩司の OK! Cozy up! ▼16 (月) 軍事評論家 小泉悠                                                                       |
| 2024/12/17 | BS 日テレ       | 【深層 NEWS】モスクワ爆発で将校ら死亡…ウクライナ作戦認める報道▽シリア露軍基地で退避の動き…ロシア影響力低下も▽ウクライナがシリア反政府勢力支援か▽クルスク州戦闘に北朝鮮兵本格投入…犠牲拡大も        |
| 2024/12/19 | 日テレ NEWS NNN | 北朝鮮兵、ウクライナ侵攻の最前線に…ゼレンスキー氏「プーチンのために死ぬ理由ない」 北朝鮮国民、派遣を知らされず? (2024 年 12 月 19 日掲載)                             |
| 2024/12/21 | ABC テレビ      | 【前半戦】世界“ふてほど”No.1 グランプリ 2024! 国民民主党・玉木氏が緊急参戦! 世界で一番「不適切にもほどがある」国を決める 3 時間半 SP                              |
| 2024/12/22 | 朝日新聞デジタル     | <お知らせ> トランプ再登場でウクライナは 記者サロン                                                                                |
| 2024/12/22 | 文春オンライン      | 【12 月 22 日(日)15 時〜】小泉悠×高橋杉雄「虚構のなかの『冷戦』・『内戦』・『クーデター』」                                                       |
| 2024/12/23 | TBS ラジオ      | 『荻上チキ・Session』▼特集「小泉悠×荻上チキ〜セッション・ニュース年録 2024」                                                              |

|            |              |                                                                                                     |
|------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/12/25 | BS フジ        | プライムニュースDX 米大統領選、自民党総裁選、総選挙、2024年選挙を徹底検証                                                            |
| 2024/12/27 | 日経ビジネス電子版    | 昭和100年の教訓 栄光と停滞、30人の証言▼ウクライナ戦争 小泉 悠<br>[東京大学准教授]                                                    |
| 2024/12/27 | TBS NEWS DIG | Nスタ▼“ロシア軍地对空ミサイルの誤射”か カザフスタンで旅客機墜落 38人死亡 機体には複数の小さな穴 「防空システム」によってできた可能性が                            |
| 2024/12/27 | 朝日新聞デジタル     | 小泉悠さん「諜報機関の人間なら見逃さない」 海底ケーブルのリスク                                                                    |
| 2024/12/29 | TBS テレビ      | 報道の日2024 TBSテレビ報道70年～8つの禁断ニュース                                                                      |
| 2024/12/31 | 上泉雄一のええなぁ!   | 小泉悠「ロシアによるウクライナ侵攻、停戦はアメリカ次第」「プーチンの次の一手は、デモンストレーションの核使用」「アサド政権崩壊シリアでロシアの動きは？日本の安全保障は？」12月31日         |
| 2025/1/6   | BS 日テレ       | 【深層 NEWS】戦後80年「いまを、戦前にさせない」ウクライナ侵攻の終わらせ方▽北朝鮮兵クルスク州で大損失「ロシア軍に守られていない」▽ロシアが日本との戦争想定か…日本・韓国攻撃目標160カ所計画 |
| 2025/1/10  | 月刊軍事研究       | 軍事研究 2025年2月号▼ロシアの新「核ドクトリン」と抑止戦略                                                                    |
| 2025/1/10  | 中央公論.jp      | 中央公論 2025年2月号◆ウクライナ「停戦」シナリオを読む▼小泉 悠                                                                 |
| 2025/1/14  | NHK          | 第六夜 近くて遠い?大国のリアル@明治神宮外苑 - プラット -                                                                    |
| 2025/1/14  | BS フジ        | プライムニュース▼【ロシア西部とウクライナ東部での激戦】越境攻撃と北朝鮮兵の実態 岩田清文×東野篤子×小泉悠×神保謙 2025/1/14 放送<前編>                         |
| 2025/1/14  | BS フジ        | プライムニュース▼【トランプ流の停戦案】領土&NATOをめぐる停戦交渉の行方 岩田清文×東野篤子×小泉悠×神保謙 2025/1/14 放送<後編>                           |
| 2025/1/17  | オールナイトニッポン   | 松任谷由実のオールナイトニッポン GOLD (1月17日ゲスト出演)                                                                  |
| 2025/1/20  | 慶應戦略構想センター   | コメンタリー集『KCS Strategic Foresight 2025』小泉悠「ロシア」                                                       |
| 2025/1/23  | BS-TBS       | 外交・安保に2つの“派閥”? トランプ政権の安保戦略「力による平和」とは何か【1月23日(木)#報道1930】                                             |

|           |              |                                                                                                         |
|-----------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2025/1/24 | BS 日テレ       | 【深層 NEWS】クルスク州の攻防ロシア「6割奪還」主張…停戦交渉への影響は▽ゼレンスキー氏平和維持部隊「最低 20 万人必要」▽トランプ氏「自国第一主義」で世界は▽トランプ氏「賢い男だ」金正恩氏と対話模索 |
| 2025/1/28 | 日経ビジネス電子版    | 小泉悠×山口亮 グラデーション化する戦争、日本はすでに巻き込まれている                                                                     |
| 2025/1/28 | みんなの（マガジン）   | 小泉悠が語る「プーチンの『本当の勝利』」 3つの重要ポイント…トランプ就任で何がかわるのか「もし軍事援助が削減されたら？」                                           |
| 2025/1/29 | 全国無料テレビ BS11 | 【トランプ】ロシアに制裁圧力 ウクライナ停戦の行方は？ インサイド OUT                                                                   |
| 2025/1/31 | 外交 WEB       | 『外交』Vol.89 Jan./Feb. 2025▼戦時下で変貌を遂げるロシア軍（PDF 閲覧あり）                                                      |
| 2025/2/1  | 北海道新聞デジタル    | 脅威とは言えない北方領土のロシア軍 中口の軍事連携、北方と南西は一つながりと認識を                                                               |
| 2025/2/8  | NHK          | 北方領土 ロシア化進む ホテル スパ サウナ…衛星写真や SNS で分析 ウクライナ侵攻後に変化 軍事基地にも…                                                |
| 2025/2/13 | 日経ビジネス電子版    | 小泉悠×山口亮 台湾有事、中国が「今しかない」と思うと危ない                                                                          |
| 2025/2/14 | 日テレ NEWS NNN | ウクライナ“停戦交渉”のウラ側は——専門家 3 人に聞く 「ノーベル平和賞」狙い？ 見せかけの「充電期間」？ 再侵攻の可能性も（2025 年 2 月 14 日掲載）                      |
| 2025/2/14 | 日本経済新聞       | （停戦交渉 識者の見方）米口のみでは実現厳しく 東大先端科学技術研究センター准教授 小泉悠氏（※会員限定記事）                                                 |
| 2025/2/17 | BS11         | インサイド OUT▼【ウクライナ】侵攻 3 年"トランプ停戦"はあるのか？ 倉井高志（元ウクライナ大使） 小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授） VTR 出演：ハンノ・ペフクル(エストニア国防相) |
| 2025/2/18 | 福井新聞 D 刊     | 軍事 小泉悠・東京大准教授 ロシア優位も目的未達成                                                                               |
| 2025/2/18 | BS フジ        | プライムニュース▼【激動ウクライナ停戦交渉】ロシア寄りの米国&プーチンの思惑とゼレンスキー大統領の反発 手嶋龍一×岡部芳彦×小泉悠<br>2025/2/18 放送＜前編＞                   |
| 2025/2/18 | 日経ビジネス電子版    | 小泉悠×山口亮 北朝鮮と台湾海峡「ダブル有事」に備えよ                                                                             |
| 2025/2/18 | DEEP DIVE    | 002 トランプ政権を読み解く                                                                                         |



|           |        |                                                                                                                |
|-----------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2025/2/21 | BS 日テレ | 【深層 NEWS】米ケロッグ特使がゼレンスキー氏と会談も共同会見中止なぜ<br>▼トランプ氏“非常にイラ立っている”ゼレンスキー氏「トランプ氏は偽情報空間に生存」▼“ロシアは侵略者”表現に米国反対…プーチン氏の人心掌握術 |
| 2025/2/22 | NHK    | トランプとプーチン “ディール”の深層 - NHK スペシャル                                                                                |
| 2025/2/22 | 読売新聞   | 論点スペシャル▼露の要求 丸のみ恐れ 小泉悠氏                                                                                        |
| 2025/2/22 | 毎日新聞   | ウクライナ侵攻3年・識者に問う：小泉悠さんに聞く/上 「全力で殴り合う準備」せずに侵攻したロシア                                                               |
| 2025/2/23 | 毎日新聞   | ウクライナ侵攻3年・識者に問う：小泉悠さんに聞く/中 米露による合意「降伏の強要になりかねない」                                                               |
| 2025/2/24 | 毎日新聞   | ウクライナ侵攻・3年：米、ロシアに強く出られるか 東大先端科学技術研究センター准教授 小泉悠さん                                                               |
| 2025/2/24 | BS-TBS | ウクライナ侵攻3年「ロシアは停戦を急がない」【2月24日（月）#報道1930】                                                                        |
| 2025/2/24 | 日本経済新聞 | ロシアはウクライナの属国化に固執 小泉悠・東大准教授                                                                                     |
| 2025/2/24 | 毎日新聞   | ウクライナ侵攻3年・識者に問う：小泉悠さんに聞く/下 「大日本帝国のような国」どう向き合うべきか                                                               |
| 2025/2/26 | 産経ニュース | <正論>人ごとではない頭越しの「停戦」 東京大学先端科学技術研究センター准教授・小泉悠                                                                    |
| 2025/2/28 | 月刊正論   | 月刊正論 2025年4月号▼小泉悠／「戦争のある21世紀」を生きるために《第25回正論新風賞受賞記念論文》                                                          |
| 2025/3/4  | 朝日新聞   | ウクライナ、米の軍事支援停止でいつまで戦えるのか 小泉悠氏が分析【トランプ再来】                                                                       |
| 2025/3/4  | 毎日新聞   | 戦後80年「戦争をしない」を続けるために：身勝手な「大国」に振り回されない 米中露に日本はどう対抗する                                                            |
| 2025/3/6  | VOICE  | VOICE(ヴォイス) 2025年4月号▼「復古主義者」としての信長とプーチン 呉座勇一&小泉悠                                                               |
| 2025/3/8  | NHK    | サタデーウォッチ9 激しい寒暖差…雪も▽ウクライナ支援の行方▽退職の理由投稿                                                                         |

|           |             |                                                                                           |
|-----------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2025/3/9  | TBS         | サンデーモーニング▼「最も影響が大きいのは情報提供」これまでの支援額、日本円にして 10 兆円…アメリカがウクライナへの軍事支援を一時停止<br>その影響の内実は：手作りフリップ |
| 2025/3/10 | 産経ニュース      | 小泉悠氏が講演 ウクライナ「抵抗やめるわけにはいかず」 大阪「正論」懇話会                                                     |
| 2025/3/10 | 月刊軍事研究      | 「軍事研究」 2025 年 4 月号▼新国防相ペロウソフが描く露軍の将来像<br>小泉悠                                              |
| 2025/3/12 | 日経 BOOK プラス | 小泉悠×山口亮 東アジア人の視点から戦争を考える                                                                  |
| 2025/3/13 | 日テレ NEWS    | 【#きっかけ解説】“台湾有事”について考える 「軍事的圧力」強める中国<br>本当に台湾統一に武力を用いるのか？                                  |
| 2025/3/13 | BS-TBS      | 報道 1 9 3 0 ▼譲らないプーチン氏は米ウ停戦案にどう動く、ゼ大統領の譲歩の真意は                                              |
| 2025/3/19 | ANN         | 報道ステーション（出演）【プーチン氏の“狙い”】米口首脳 30 日間停戦ならず                                                   |
| 2025/3/20 | TBS         | “停戦後”の世界 バルト三国の覚悟 譲らない停戦条件 ロシア国民の支持は<br>【3 月 20 日(木)#報道 1930】                             |
| 2025/3/22 | クーリエ・ジャポン   | 「プーチンはいまのトランプとは停戦に応じない」 小泉悠が読む交渉の行方                                                       |
| 2025/3/24 | 笹川平和財団      | 戦時下ロシア軍の変貌——その現状と将来像                                                                      |
| 2025/3/25 | BS フジ       | プライムニュース▼【米露・米ウ停戦再協議の裏側】エネルギー施設への攻撃回避は？全面停戦への進展は？ 東野篤子×神保 謙×小泉 悠 2025/3/25 放送＜前編＞         |
| 2025/3/25 | 朝日新聞        | 大国による「勢力分割」でロシアに共鳴か 北米にこだわるトランプ氏 [トランプ再来]                                                 |
| 2025/3/29 | ABC テレビ     | 教えて！ニュースライブ 正義のミカタ▼藤井聡、高橋洋一 高市早苗 小泉悠 西田亮介 ほか                                              |

### ③国末憲人 特任教授

| 日付 | メディア媒体 | 番組名・記事タイトル |
|----|--------|------------|
|----|--------|------------|

|           |               |                                                                                 |
|-----------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/4/1  | Nippon.com    | Europe's Response to the War in Gaza: Finding a Path to Constructive Engagement |
| 2024/4/4  | 新潮社 Foresight | 「次はナルヴァ」？ エストニア、国境の街の沈黙：国末憲人                                                    |
| 2024/5/31 | 新潮社 Foresight | 【特別インタビュー】パスカル・ペリノー仏パリ政治学院名誉教授（上）——欧州議会選で右翼ポピュリズムを後押しする「争点の国内化」                 |
| 2024/5/31 | 新潮社 Foresight | 【特別インタビュー】パスカル・ペリノー仏パリ政治学院名誉教授（下）——欧州政治の中道主導は変わらない                              |
| 2024/6/10 | BS-TBS        | 極右台頭の裏に中口の影？“極右”が“普通”になっていく世界は…【6月10日（月）#報道1930】                                |
| 2024/6/12 | 毎日新聞          | 「ウクライナ 停戦難しい」 東大・国末特任教授 取材もとに講演 広島／広島                                           |
| 2024/6/21 | 新潮社 Foresight | 「戦争」と「復興」が同居する日常の重カ——キーウ、イルピン、ポロジャンカ、アンドリーウカ                                    |
| 2024/6/22 | 新潮社 Foresight | 「戦争疲れ」と「戦争慣れ」——揺れる世論、再び顔を覗かせる“悪弊”                                               |
| 2024/6/23 | 新潮社 Foresight | 取り残された前線州——ヘルソンへの旅                                                              |
| 2024/6/25 | 新潮社 Foresight | フランス総選挙中間報告（上） マクロン「解散」の勝算と「四銃士」の策謀                                             |
| 2024/6/26 | 新潮社 Foresight | フランス総選挙中間報告（中） 右翼右派の連携を目論む「メディア王」                                               |
| 2024/6/26 | 新潮社 Foresight | フランス総選挙中間報告（下） 揺らぐ新人民戦線、左翼にかつての勢いなく                                             |
| 2024/6/28 | 新潮社 Foresight | ヘルソン、拷問施設の実態を探る——男性の精神を破壊するためのレイプ                                               |
| 2024/6/29 | 新潮社 Foresight | 拘束された元知事の軌跡——「ウクライナ軍はお前を殺すだろう」                                                  |
| 2024/6/30 | 新潮社 Foresight | 「虐殺の街」その後——ブチャ・イワナフランクカ通り再訪                                                     |
| 2024/7/6  | 新潮社 Foresight | 〔フランス総選挙〕統治経験なき右翼、核保有国フランスを治める不安——国際問題専門誌『グラン・コンティナン』代表ジル・グレスニ氏                 |
| 2024/8/8  | 新潮社 Foresight | 〔混迷フランス政治〕大躍進でも勝ち切れない右翼「国民連合」、その「革命っぽさ」の虚実（上）                                   |
| 2024/8/8  | 新潮社 Foresight | 〔混迷フランス政治〕大躍進でも勝ち切れない右翼「国民連合」、その「革命っぽさ」の虚実（下）                                   |

|            |                    |                                           |
|------------|--------------------|-------------------------------------------|
| 2024/8/9   | 新潮社 Foresight      | 「混迷フランス政治」左派左翼には選べぬ次期首相、焦点は唯一「中道・左派の連携」のみ |
| 2024/8/19  | 新潮社 Foresight      | 英保守党「大敗」を演出した「14年間の失望の蓄積」                 |
| 2024/10/3  | 新潮社 Foresight      | フランス「バルニエ内閣」が示唆する欧州政治の「新トレンド」             |
| 2024/10/25 | 新潮社 Foresight      | アルメニア「サバイバル戦略の行方」(1) ユーラシアの十字路            |
| 2024/10/26 | 新潮社 Foresight      | アルメニア「サバイバル戦略の行方」(2) 圧迫される国土              |
| 2024/10/27 | 新潮社 Foresight      | アルメニア「サバイバル戦略の行方」(3) 地域大国のゲームのはざままで       |
| 2024/11/29 | 新潮社 Foresight      | 第2部 チェルノブイリの捕虜たち(1) 原発占領                  |
| 2024/11/30 | 新潮社 Foresight      | 第2部 チェルノブイリの捕虜たち(2) 連日の暴行                 |
| 2024/12/6  | 新潮社 Foresight      | 第2部 チェルノブイリの捕虜たち(3) 473日の拘束               |
| 2024/12/7  | 新潮社 Foresight      | 第2部 チェルノブイリの捕虜たち(4) 帰らない人々                |
| 2024/12/8  | 新潮社 Foresight      | 第2部 チェルノブイリの捕虜たち(5) 占領地の明暗                |
| 2024/12/19 | 政策シンクタンク<br>PHP 総研 | 2025年版 PHP グローバル・リスク分析                    |
| 2024/12/31 | 新潮社 Foresight      | フランス「終わらない政治危機」の構造——物語なき中道はデマゴークに抗えず      |
| 2025/1/23  | 人吉新聞社              | 元記者の国末さん 五木分校で生徒に戦争、報道語る                  |
| 2025/1/28  | 熊本日新聞社             | ウクライナ取材の元記者、人吉高五木分校で講話 「無縁ではない」           |
| 2025/2/3   | 新潮社 Foresight      | ナゴルノ・カラバフ「統一」後の現在(1) 地雷と復興                |
| 2025/2/4   | 新潮社 Foresight      | ナゴルノ・カラバフ「統一」後の現在(2) シュシャ、住民は帰還したが        |
| 2025/2/10  | 新潮社 Foresight      | ナゴルノ・カラバフ「統一」後の現在(3) 住民の定着進むラチン           |
| 2025/2/11  | 新潮社 Foresight      | ナゴルノ・カラバフ「統一」後の現在(4) バクー：アルメニア非難とロシアへの配慮  |
| 2025/3/14  | 新潮社 Foresight      | 第3部 ミサイルの下で(1) ハルキウ、前線の静寂                 |
| 2025/3/15  | 新潮社 Foresight      | 第3部 ミサイルの下で(2) ハルキウ、墓標なき墓地                |
| 2025/3/22  | 新潮社 Foresight      | 第3部 ミサイルの下で(3) オデッサ、狙われた世界遺産              |
| 2025/3/23  | 新潮社 Foresight      | 第3部 ミサイルの下で(4) オデッサ、戦争と文化                 |
| 2025/3/24  | 新潮社 Foresight      | 第3部 ミサイルの下で(5) キーウ、取り残される「正義」             |

### ③ 山口亮 特任助教

| 日付        | メディア媒体                   | 番組名・記事タイトル                                                                                                                                   |
|-----------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/4/2  | TBS                      | Nスタ ten（出演）                                                                                                                                  |
| 2024/4/2  | TBS                      | 北朝鮮ミサイル発射「狙いは武器の“多様化”と戦力向上のための“更新”」東京大学先端科学技術研究センター 山口亮特任助教インタビュー                                                                            |
| 2024/4/3  | 霞山会                      | 月刊『東亜』2024年4月号▼*統一と体制維持の手段を絞った北朝鮮 山口亮                                                                                                        |
| 2024/4/5  | Atlantic Council         | The US and Japan are upgrading their security alliance. Here's what needs to come next.                                                      |
| 2024/4/8  | SBC 信越放送                 | SBC ラジオ「丸山隆之のあさまる」SBC ラジオ あさまるコラム                                                                                                            |
| 2024/4/10 | South China Morning Post | Japan gets 'some of the same toys as the big boys' as first aircraft carrier since WWII enters service   South China Morning Post (scmp.com) |
| 2024/5/14 | South China Morning Post | Drone footage of Japan warship on Chinese social media sparks concern in Tokyo                                                               |
| 2024/5/14 | NK PRO                   | Russia freighter returns to North Korean port amid new allegations of arms trade                                                             |
| 2024/5/16 | 読売テレビ                    | 【ヨコスカ解説】急接近する中露、それぞれの思惑—プーチン大統領、中国訪問 蜜月の裏で中国を“憂鬱”にさせる北朝鮮の存在とは？                                                                               |
| 2024/5/20 | NK PRO                   | Why even faulty North Korean weapons won't derail military ties with Russia                                                                  |
| 2024/5/27 | テレビ朝日                    | 報道ステーション 5月27日 「北朝鮮の偵察衛星打ち上げについて」                                                                                                            |
| 2024/5/27 | South China Morning Post | Can Japan, China resolve Fukushima water tensions? Experts say it's unlikely                                                                 |
| 2024/5/28 | 読売テレビ                    | 朝生ワイド す・またん！Zip！「北朝鮮の偵察衛星について」5月28日                                                                                                          |
| 2024/6/10 | South China Morning Post | Japan's coastguard to build megaship – is move aimed at China in Diaoyu Islands?                                                             |
| 2024/6/17 | NK News                  | G7 condemns North Korea-Russia arms trade ahead of possible Putin-Kim summit                                                                 |
| 2024/6/17 | NK News                  | North Korea has added 20 nukes to arsenal since last year, think tank estimates                                                              |

|           |                             |                                                                                 |
|-----------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/6/18 | South China<br>Morning Post | Coastguard law could trigger new conflict ‘flashpoints’ in Japan-China ties     |
| 2024/6/25 | 霞山会                         | 月刊『東亜』2024年7月号▼「北朝鮮の軍事偵察衛星システムの現状」 山口亮                                          |
| 2024/6/26 | South China<br>Morning Post | Japan on edge as tightening Russia-North Korea ties stoke defence anxieties     |
| 2024/7/8  | SBC 信越放送                    | SBC ラジオ「丸山隆之のあさまる」（出演）                                                          |
| 2024/7/9  | South China<br>Morning Post | Japan leverages demining diplomacy to counter China’s Cambodia influence        |
| 2024/7/9  | NK News                     | Russian military jet lands in North Korea, first known flight since Putin visit |
| 2024/7/16 | South China<br>Morning Post | Japan steps up security for politicians, VIPs after Trump rally shooting        |
| 2024/7/22 | DW                          | Japan's influence in Pacific comes up against China                             |
| 2024/7/30 | South China<br>Morning Post | US military command upgrade in Japan a ‘powerful geopolitical signal to China’  |
| 2024/8/6  | KOREA PRO                   | Seoul and Tokyo boost defense ties, but remain vulnerable to political winds    |
| 2024/8/19 | NHK                         | NHK ニュース「米韓軍事演習」                                                                |
| 2024/8/27 | South China<br>Morning Post | Seoul’s ‘submissive’ Tokyo ties blasted as Kishida seeks Yoon talks before exit |
| 2024/8/27 | NK PRO                      | How North Korea’s new suicide drones could menace the South, with or without AI |

⑤西山美久 特任助教

| 日付        | メディア媒体    | 番組名・記事タイトル                                     |
|-----------|-----------|------------------------------------------------|
| 2024/5/20 | Foresight | プーチンの愛国心教育は新たな「メディンスキーとトルクノフの歴史教科書」にどう記されたか（上） |
| 2024/5/20 | Foresight | プーチンの愛国心教育は新たな「メディンスキーとトルクノフの歴史教科書」にどう記されたか（下） |

⑥豊田耕平 連携研究員

| 日付         | メディア媒体          | 番組名・記事タイトル                                                               |
|------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 2024/4/9   | Arab News Japan | Japanese group pins hopes on Saudi Arabia for energy transition projects |
| 2024/7/4   | 新潮社 Foresight   | サウジ・UAE、国際 LNG 市場進出の狙いを捉える「市場・知見・外交」の三視点                                 |
| 2024/9/17  | エネルギーフォーラム      | イスラエル・レバノン戦線注視 エジプトのガス需給に影響も（会員有料記事）                                     |
| 2024/9/20  | 日本経済新聞          | アラブ首長国連邦やサウジアラビア、オイルマネーを AI へ 編集委員 久門武史                                  |
| 2024/9/27  | 新潮社 Foresight   | サウジ・UAE の脱炭素目標「10 年差」が示すエネルギー転換の戦略的差異：天然ガスの国内需要から LNG・水素輸出まで             |
| 2024/12/17 | 新潮社 Foresight   | 湾岸アラブ諸国は「水素外交」の布石着ターーサウジ・UAE の再エネ「ナショナル・チャンピオン」企業が持つ戦略性                  |
| 2025/2/18  | 新潮社 Foresight   | 暗転したエジプトの東地中海「エネルギーハブ」構想：持続可能な供給源となりえるか                                  |

⑦田中祐真 特任研究員

| 日付       | メディア媒体        | 番組名・記事タイトル                                             |
|----------|---------------|--------------------------------------------------------|
| 2024/4/2 | 新潮社 Foresight | 「中央アジアのロシア離れ」は本当か？――ロシア・ウクライナ戦争が浮彫りにする地域秩序の複雑性（上）：田中祐真 |
| 2024/4/2 | 新潮社 Foresight | 「中央アジアのロシア離れ」は本当か？――ロシア・ウクライナ戦争が浮彫りにする地域秩序の複雑性（下）：田中祐真 |

⑧石本凌也 特任研究員

| 日付        | メディア媒体       | 番組名・記事タイトル                                                         |
|-----------|--------------|--------------------------------------------------------------------|
| 2024/8/21 | The Diplomat | Strengthening Japan-US Security Relations Over Extended Deterrence |
| 2025/1/7  | SYNODOS      | 核兵器問題をめぐる日本の立場：唯一の「被爆国」であるアメリカの「同盟国」の実相/石本凌也                       |

3. 外国シンクタンク・有識者等との連携、ネットワークを通じた国際世論の醸成への貢

献（若手人材の参画を含む）

## **若手人材の育成**

本事業では、発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」、発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流:日本の安全保障戦略の課題」と連携しながら、研究能力、対外発信能力を育成すべく、パーマネントのポストを持たない若手の人材を積極的に登用しているほか、インターンの採用による次世代人材の発掘・育成を行なっている。とりわけ、本事業では主として以下のプログラムを実施した。

### **(1) インターン制度の導入（3 事業共通）**

本事業では、3 か月ごとにインターンを採用しており、春季・夏季・秋季・冬季インターンとして以下の 14 名を採用した。いずれも高い英語能力を有し、ROLES 助教・研究員の下で、調査研究支援や、国際ワークショップの企画運営に参画している。

- 平田 拓海 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程 2 年（春季・夏季）
- 武田 大輝 東京大学前期教養学部文科一類 2 年（春季・夏季）
- 倉石 東那 東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻国際関係論コース博士後期課程（春季・夏季）
- 浅野 華以 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系修士課程 2 年（春季・夏季・秋季・冬季）
- 芦田 直澄 東京大学前期教養学部文科一類 2 年（春季・夏季・秋季・冬季）
- 長谷川 航太 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程 2 年（春季・夏季・秋季・冬季）
- 林 奈都美 早稲田大学国際教養学部国際教養学科 4 年（春季・夏季・秋季・冬季）
- 宮本 緋夏 法政大学法学部国際政治学科 4 年（春季・夏季・秋季・冬季）
- 川目 慎太郎 立教大学異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科 4 年（秋季・冬季）
- 渡辺 大翔 早稲田大学大学院政治学研究科修士課程 1 年（秋季・冬季）
- 杉山 弦 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻関連基礎科学系科学技術基礎論大講座博士後期課程（秋季・冬季）
- 童 児夢 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修士課程 1 年（秋季・冬季）
- 何 山 放送大学教養学部通信課程（秋季・冬季）
- 手塚 颯一郎 青山学院大学法学部法学科 4 年（秋季・冬季）



(2) 第2回徳之島国際ユースキャンプ (Tokunoshima International Youth Camp) の開催 (発展型総合事業「国際理念と秩序の潮流」の研究会「宗教と国際秩序」を中心に、本事業及び発展型総合事業「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」との合同事業として実施)

【日時】2024年12月2日～8日

【場所】徳之島伊仙町

【参加者】

1) 学生 (全行程参加12名、一部参加1名)

ボスニア・ヘルツェゴビナ

- ・アナスタシヤ・プラブシッチ (バニャルカ大学)
- ・ガブリエラ・アセンティッチ (バニャルカ大学)
- ・ニキツァ・ブバロ (モスタル大学)
- ・ウラディミル・ベガル (モスタル大学)
- ・レイラ・ブルギッチ (サラエボ大学)
- ・アイヌル・カニジャ (サラエボ大学)

韓国

- ・キム・ジュニョン (江原国立大学校)
- ・坪井佑介 (江原国立大学校)

日本

- ・菅原一花 (東京大学)
- ・山村絢 (東京大学)
- ・横森翼 (慶應義塾大学)
- ・野末美樹 (慶應義塾大学)
- ・成瀬茉倫 (慶應義塾大学) \*12月6-8日

2) 教員・スタッフ

- ・ディーノ・アバゾビッチ (サラエボ大学教授)
- ・西村明 (東京大学教授)
- ・犬塚悠太 (東京大学大学院博士課程学生)
- ・立田由紀恵 (東京大学先端科学技術研究センター特任研究員)

## 【スケジュール】

|          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 12月2日（月） | 参加者伊仙町到着                      |
| 12月3日（火） | 開会式、徳之島の歴史についての講演（松岡）、グループワーク |
| 12月4日（水） | 学生グループワーク                     |
| 12月5日（木） | エクスカーション（犬田布岬、母間カトリック教会等）     |
| 12月6日（金） | 学生グループワーク、犬田布小学校児童との交流会       |
| 12月7日（土） | グループワーク報告会、島の子どもたちとの交流会       |
| 12月8日（日） | 参加者伊仙町出発                      |

## 【概要】

今回のユースキャンプでは、ボスニアで政治社会的な分断の深まる3民族それぞれの代表的な大学（セルビア人のバニャルカ大学、クロアチア人のモスタル大学、ボシュニャクが中心のサラエボ大学）から学生が2名ずつ参加し、全行程を通じて仲間として互いに分け隔てなく過ごし、民族ごとの言語の呼び名（セルビア語、クロアチア語、ボスニア語）を使わないなど互いに配慮する様子が見られた。

「戦後社会を生きること」をテーマとしたグループワークでは、3民族の対立が政治的に煽られたものであり個人レベルには及ばないこと、戦争では3つの民族がいずれも苦しんだこと、3民族は言語や文化を共有しており互いをはっきり区別するものはないことなどが強調された。これら3大学の学生が交流する機会はほとんどないが、本キャンプはボスニアへの政治面での関与が大きい欧米ではなく、また3民族を隔てる3宗教（セルビア正教、カトリック、イスラーム）文化圏のいずれにも属さない日本をホストとしたことで、戦後社会という課題という分断に結びつくような課題に共に向き合うことができたのかもしれない。

参加者全員で徳之島にある三町（徳之島町、天城町、伊仙町）の教育委員会を訪問した。三町とも英語教育や遠隔教育に積極的に取り組んでおり、その取り組みを次年度のキャンプと連携させることが話し合われた。今回は伊仙町立犬田布小学校の児童と参加学生がスポーツなどを通じて交流し、またその交流から参加日本人学生と児童との遠隔英会話レッスンが計画されるなど、徳之島における国際教育推進への貢献が始まりつつある。

また、モスタル大学から参加したクロアチア人学生の協力で、モスタル大学との研究交流も進む見通しが立った。10月に西村明東京大学教授と立田由紀恵東京大学先端科学技術研究センター特任研究員がバニャルカ大学を訪問し、ROLESを介したサラエボ大学とバニャルカ大学との間の研究協力の計画を進めているが、これにモスタル大学も加えた3大学の連携へと発展することが期待される。

## 外国シンクタンク・有識者等との連携及びネットワークを通じた国際世論の醸成

本事業では、上記目的を達成するため、(1) ROLES メンバー及び研究会を主体とした外国有識者、シンクタンクとの意見交換／国際ワークショップ・シンポジウムの実施、(2) 海外調査を通じた外国有識者、シンクタンクとのネットワーク強化、を実施した。

### 4. 国際的な議論を先導するシンポジウムの開催

本事業が単独または「『ポスト・ウクライナ』世界を生き抜くための外交・安全保障の構想と研究能力の抜本的強化」「国際理念と秩序の潮流」と連携して実施した国際シンポジウムは以下の通り。

| 日時        | イベント名                                                   | 講演者（所属）                                                                                                                    | 形式 | 事前<br>登録 | 当日<br>参加 | 共催機<br>関             | 実施研<br>究会                                                     |
|-----------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------|----------|----------------------|---------------------------------------------------------------|
| 2024/7/29 | <a href="#">RCAST セキュリティ・セミナー「ウクライナとベラルーシにおける女性と革命」</a> | 服部倫卓（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）、オレーナ・ニコラエンコ（フォーダム大学政治学部教授）、東野篤子（筑波大学人文社会系教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授） | 対面 | 33       | 14       | 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター | 研究会「ロシア・ウクライナ戦争の背景・展開・帰結」研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」との合同事業 |
| 2024/9/11 | ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表 クリスチャン・シュミット 公開講演「南東欧と西バルカンにおける現在の政    | クリスチャン・シュミット（ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）                                            | 対面 | -        | -        |                      | 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の                                           |

|           |                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |        |     |     |                                                                                       |
|-----------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|
|           | 治的課題と国際的安定への影響」※中止                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |        |     |     | 自由・民主主義の帰趨」                                                                           |
| 2024/9/18 | <a href="#">国際会議「持続的な安全保障とその先：人工知能（AI）の役割」</a> | ファーティマ・アル・ヤンマーヒー（TRENDS Research & Advisory 戦略パートナーシップ専門員）、杉山正和（東京大学先端科学技術研究センター所長）、ムハンマド・アブドゥラー・アル・アリー（UAE・TRENDS Research & Advisory 最高経営責任者）、相原博昭（東京大学理事・副学長）、シハブ・アハマド・アル・ファヒーム（アラブ首長国連邦・駐日大使）、松尾剛彦（経済産業省・経済産業審議官）（ビデオ・メッセージ）、三宅浩史（外務省・中東アフリカ局参事官）、オマル・スルターン・アル・ウラマー（アラブ首長国連邦 AI・デジタル経済・遠隔勤務担当国務相）、ファイサル・アル・バンナーイー（アラブ首長国連邦・先端技術調 | ハイブリッド | 201 | 130 | 研究会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」<br>研究会「先端科学技術と安全保障」<br>研究会「紛争解決の理論と実践」<br>研究会「言説空間分析の文理横断的方法と応 |

|  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |  |  |          |
|--|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|----------|
|  |  | <p>査評議会事務局長)、河野龍興(東京大学先端科学技術研究センター教授・附属エネルギー国際安全保障機構・機構長)、原田達也(東京大学先端科学技術研究センター教授)、カイス・ハンマーミー(イスラーム世界教育・科学・文化機関(ICESCO)戦略予見・AIセンター長)、ムハンマド・スレイマーン(米国・中東研究所(MEI)戦略技術・サイバーセキュリティ部門長)、アワド・アル・ブレイキー(UAE・TRENDS Research &amp; Advisory 主任研究員・グローバル部門長)、杉山将(東京大学大学院新領域創成科学研究科・複雑理工学専攻教授/理化学研究所・革新知能統合研究センター長)、ビラール・サアブ(UAE・TRENDS Research &amp; Advisory 米国・中東関係部長)、矢入健久(東京大学先端科学技術研究センター教授)、プレスラフ・ナ</p> |  |  |  | 用」との合同事業 |
|--|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|----------|

|  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |
|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|
|  |  | <p>コフ（UAE・ムハンマド・ビン・ザーイド人工知能大学教授）、ルイジ・マルテイーノ（UAE・ハリーファ大学サイバーセキュリティ・アカデミー所長）、保坂修司（日本エネルギー経済研究所・中東研究センター研究顧問）、江崎浩（東京大学大学院・情報理工学系研究科教授）、ムーサー・アル・マルズキー（UAE・TRENDS リサーチ &amp; アドバイザリー株式会社・経済研究室長）、近藤重人（日本エネルギー経済研究所・中東研究センター主任研究員）、アブドゥッラー・アル・アッバーシー（バーレーン戦略国際エネルギー研究センター（Derasat） エネルギー・環境プログラム長）</p> |  |  |  |  |  |
|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|

|           |                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |        |     |     |                                                                                                        |
|-----------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/9/19 | <a href="#">国際会議「持続的な安全保障とその先：人工知能（AI）の役割」</a> | 佐藤丙午（拓殖大学教授）、渡邊英徳（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授・情報学環メディア・コンテンツ総合研究機構・機構長）、小泉悠（東京大学先端科学技術研究センター准教授）、モーゼス・カニイレ教授（南アフリカ・ステレンボッシュ大学軍事科学部・防衛人工知能ユニットディレクター）、パトリック・ベル（米国・国防大学助教授）、マノジュ・ハルジャーニー（シンガポール・南洋工科大学ラジャラトナム国際関係大学院（RSIS）防衛戦略研究所・研究フェロー）、スマーヤー・アル・ハドラーミー（UAE・TRENDS Research & Advisory グローバル部門長代理）、稲見昌彦（東京大学先端科学技術研究センター教授・総長特任補佐）、門内靖明（東京大学先端科学技術研究センター准教授）、エルネスト・ダミアニ（UAE・ハリーフ | ハイブリッド | 209 | 109 | 研究会「中東・イスラーム世界の多極化と均衡」<br>研究会「先端科学技術と安全保障」<br>研究会「紛争解決の理論と実践」<br>「自由民主主義秩序を支える情報プラットフォームの構築」<br>研究会「言説 |
|-----------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|  |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |                        |
|--|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|------------------------|
|  |  | <p>ア大学サイバー物理システム(C2PS) 教授・情報安全保障センター所長)、アブドルモッタレブ・アル・サディーク (UAE・ムハンマド・ビン・ザイド人工知能大学兼任教授)、ヒメナ・ヴィヴェロス (メキシコ最高裁判事法律顧問長・国連 AI 高等諮問委員会委員)、マーゼン・ハサン (エジプト・カイロ大学政治経済学部教授)、中井遼 (東京大学先端科学技術研究センター教授)、ヌール・アル・マズルーイー (UAE・TRENDS リサーチ &amp; アドバイザリー・AI プログラム代表)、ムハンマド・スレイマーン (米国・中東研究所 (MEI) 戦略技術・サイバーセキュリティ部門長)、池内恵 (東京大学先端科学技術センター教授・創発戦略研究オープンラボ (ROLES) 代表)、スマーヤー・アル・ハドラミー (UAE・TRENDS Research &amp;</p> |  |  |  | 空間分析の文理横断的方法と応用」との合同事業 |
|--|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|------------------------|



|            |                                                                         |                                                                                                                                                                               |                |     |    |   |                                            |
|------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|----|---|--------------------------------------------|
|            |                                                                         | Advisory グローバル部門<br>長代理)                                                                                                                                                      |                |     |    |   |                                            |
| 2024/12/17 | <a href="#">ピター・タイ 前進<br/>党・前党首の来日講<br/>演</a>                           | ピター・リムジャロエーン<br>ラット（ハーバード大学シ<br>ニアフェロー（前進党元<br>（野党第1党）党首、元首<br>相候補）、アヌボン・タン<br>ピーラチャイクン（ヌーバ<br>レント社（Nuvalent,<br>Inc.）主任研究員）、外山<br>文子（筑波大学人文社会系<br>准教授）、竹中治堅（政策<br>研究大学院大学教授） | 対面             | 29  | 37 | － | 研究会<br>「自<br>由・民<br>主主義<br>の動揺<br>と再<br>編」 |
| 2024/12/21 | <a href="#">講演会「21 世紀<br/>のタイの政治と<br/>経済：ペートン<br/>タン政権の政策<br/>の方向性」</a> | ピチャイ・ナリプタパン氏<br>（タイ商務大臣）、ラウォ<br>ングサ・ラマングクラ商務<br>次官、ウティクライ・リー<br>ウィーラパン商務次官、ス<br>ナンタ・カンワルクルキジ<br>国際貿易振興局長・元<br>WTO 大使、内恵・東京大                                                   | ハイ<br>ブリッ<br>ド | 156 | 93 | － | 研究会<br>「自<br>由・民<br>主主義<br>の動揺<br>と再<br>編」 |

|           |                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |                                |
|-----------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|--------------------------------|
|           |                                                  | 学先端科学技術研究センター教授・ROLES 代表、外山文子（筑波大学人文社会系准教授）                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |    |    |                                |
| 2025/2/19 | <a href="#">エストニア・国際安全保障センター（ICDS）とのラウンドテーブル</a> | クリスティ・ライク（エストニア／国際防衛安全保障センター（ICDS）所長）、池内恵（東京大学先端科学技術研究センター教授）、東野篤子（筑波大学人文社会系・教授）、土屋大洋（慶應義塾大学 副学長（グローバルエンゲージメント・情報技術担当）兼慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授）、北川敬三（元海上自衛隊（JMSDF）指揮幕僚大学校戦略部長）、川島真（東京大学大学院 総合文化研究科・教授）、中井遼（東京大学先端科学技術研究センター・教授）、合六強（二松學舎大学 国際政治経済学部・准教授）、小林弘幸（東京大学 先端科学技術研究センター・特任研究員）、西山美久（東京大学先端科学技術研究センター・特任助教） | 対面 | 13 | 13 | 研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」 |

|           |                                                               |                                           |    |   |   |                       |                         |
|-----------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----|---|---|-----------------------|-------------------------|
| 2025/1/31 | <a href="#">コロンビア大学ワークショップでの成果発表（研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」）</a> | 待鳥聡史（京都大学大学院法学研究科教授）<br>竹中治堅（政策研究大学院大学教授） | 対面 | - | - | コロンビア大学ウェザーヘッド東アジア研究所 | 研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」 |
|-----------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----|---|---|-----------------------|-------------------------|

### 3-2 事業の実施状況・成果の定量的概要

#### 【調査】

- ・ 情報収集・調査実施回数： 47 回

#### 【会議】

- ・ 研究会の実施数： 35 回
- ・ シンポジウム／セミナー／ワークショップ等の主催・共催数： 15 回
- ・ 他団体主催のシンポジウム／セミナー／ワークショップ等への参加数： 0 回

#### 【情報発信】

- ・ インタビューや報道発表の実施数： 225 回
- ・ 論文やコメントリーの発出数： 97 回
- ・ 政策提言を含む報告書の発出数： 10 回
- ・ 学術誌の発行： 0 回

※ 主要なものにつき、審査委員や政府関係者などが閲覧できるよう URL（未発表のものは概要）を記載。また、上記以外の情報発信（メールマガジン配信、ウェビナー動画の発信など、独自に実施している情報発信）も該当があれば記載すること。

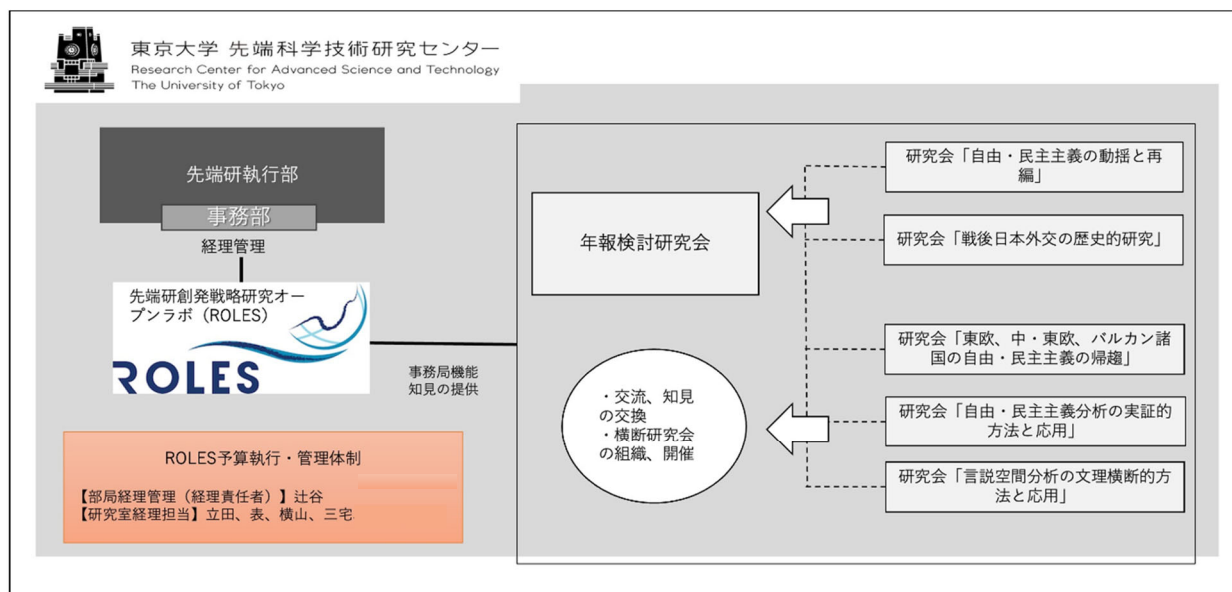
## 4-1 事業実施体制

- ・事業を実施するための人的体制、それぞれの役割分担等を記載のこと。
  - ・必要に応じ、それぞれの経験、能力等を示す資料を別添可。
  - ・若手、女性研究者、地方在住の研究者にカウントしている場合はそれを分かるようにすること。
- (※) 年齢・性別は評価の際の参考情報として記載するものであり、対外公表はしない。

### 1 組織図（自由書式）

※ 複数の分科会／研究会が設けられている場合は、それらが有機的に連携するためにどのような体制が取られているか明示すること。

※ 予算の執行・管理体制を明示すること。



## 組織図

### 2 メンバー詳細

| 事業総括、グループリーダー、研究担当、渉外担当、経理担当等の別 | 氏名 | 所属機関・部局・職 | 役割 |
|---------------------------------|----|-----------|----|
|                                 |    |           |    |

| 事務局 (ROLES)        |                  |                                   |                                                                                |
|--------------------|------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 事業総括               | 池内 恵             | 東京大学先端科学技術研究センター教授                | 事業全体の企画と運営の総括                                                                  |
| 副事業総括              | 国末 憲人            | 東京大学先端科学技術研究センター特任教授              | ・事業全体の副総括<br>・広報全般の統括                                                          |
| 副事業総括              | 小泉 悠<br>(若手)     | 東京大学先端科学技術研究センター准教授               | 事業全体の副総括(研究企画担当)                                                               |
| 副事業総括              | 伊藤 和歌子(女性)       | 東京大学先端科学技術研究センターシニアプログラム・コーディネーター | 事業全体の副総括(プロジェクト管理担当)                                                           |
| 事業総括補佐             | 立田 由紀恵<br>(女性)   | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員             | 事業総括の補佐(総務担当)                                                                  |
| 事業総括補佐             | 鍛冶 一郎<br>(若手)    | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員             | 事業総括の補佐(広報・データベース担当)                                                           |
| 経理管理               | 辻谷 宏人            | 東京大学・先端科学技術研究センター事務部・上席係長(外部資金担当) | 経理事務の管理・監督                                                                     |
| 経理                 | 表 真琴<br>(女性)     | 東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員             | 経理に関わる実務                                                                       |
| 広報                 | 田中 周<br>(若手)     | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員             | アウトリーチ活動に関わる実務                                                                 |
| 広報                 | 金子 美和<br>(女性)    | 東京大学先端科学技術研究センター事務補佐員             | アウトリーチ活動に関わる庶務                                                                 |
| 連絡調整               | 西山 美久<br>(若手)    | 東京大学先端科学技術研究センター特任助教              | 事業メンバー・学内との連絡・調整                                                               |
| 連絡調整               | 狩野 希望<br>(若手・女性) | 東京大学先端科学技術研究センター協力研究員             | 事業メンバーとの連絡・調整                                                                  |
| 連絡調整               | 石本 凌也<br>(若手)    | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員             | 事業メンバー・学内との連絡調整                                                                |
| 連絡調整               | 小林 弘幸<br>(若手)    | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員             | 事業メンバー・学内との連絡・調整                                                               |
| 研究会「自由・民主主義の動揺と再編」 |                  |                                   |                                                                                |
| 座長                 | 坂元 一哉<br>(地方在住)  | 大阪大学名誉教授(兼・ROLES 顧問)              | ・研究会のとりまとめ、各研究会の調査研究に関する方向性の取りまとめ<br>・2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等 |
| 座長代理・研究担当          | 村田 晃嗣<br>(地方在住)  | 同志社大学法学部教授                        | ・座長を補佐しながら研究会のとりまとめ<br>・2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等               |
| 研究担当               | 高橋 慶吉<br>(地方在住)  | 大阪大学大学院法学研究科教授                    | 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当               | 小島 吉之<br>(地方在住)  | 帝塚山大学非常勤講師                        | 日米など既存秩序諸国のインテリジェンス体制についての調査・研究、発信等                                            |
| 研究担当               | 杉田 弘毅            | 共同通信特別編集委員                        | 2024 年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等                                       |

|                          |                       |                       |                                                                                      |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究会幹事・研究担当               | 鍛治 一郎<br>(若手)         | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員 | 歴史的観点から見た日本の政治・外交のあり方、同盟国・同志国との連携に関する調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当                     | 瀧井 一博<br>(地方在住)       | 国際日本文化研究センター教授        | 歴史的観点から見た日本の政治・外交のあり方、同盟国・同志国との連携に関する調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当                     | 小谷 哲男                 | 明海大学外国語学部教授           | 米国の安全保障に関する調査・研究、発信等                                                                 |
| 研究担当                     | 阿部 亮子<br>(若手・女性・地方在住) | 麗澤大学国際学部准教授           | 米国の安全保障政策のあり方、とくに軍事体制についての調査・研究、発信等                                                  |
| 研究担当                     | 石本 凌也<br>(若手)         | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員 | 2024年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等                                              |
| 研究担当                     | 山口 航<br>(若手)          | 帝京大学法学部専任講師           | 2024年の米国大統領選挙を中心に米国の政治・外交のあり方の調査・研究、発信等                                              |
| 研究担当                     | 松本 佐保<br>(女性・地方在住)    | 日本大学国際関係学部教授          | 2024年の米国大統領選挙を中心に米国の宗教のあり方の調査・研究、発信等                                                 |
| <b>研究会「戦後日本外交の歴史的研究」</b> |                       |                       |                                                                                      |
| 座長                       | 中島 琢磨<br>(地方)         | 九州大学大学院法学研究院教授        | ・研究会のとりまとめ、各研究会の調査研究に関する方向性のとりまとめ<br>・戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等 |
| 幹事                       | 鍛治 一郎<br>(若手)         | 東京大学先端科学技術研究センター特任研究員 | 戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当                     | 池宮城 陽子<br>(若手・女性)     | 日本学術振興会特別研究員（東京科学大学）  | 戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当                     | 藤田 吾郎<br>(若手)         | 早稲田大学政治経済学術院講師        | 戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当                     | 濱砂 孝弘<br>(若手)         | 早稲田大学社会科学総合学術院助教      | 戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当                     | 真栄城 拓也<br>(若手・地方在住)   | 日本学術振興会特別研究員（大阪大学）    | 戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理および調査・研究、発信等                                       |
| 研究担当                     | 西村 真彦<br>(若手・地方在住)    | 国際日本文化研究センター機関研究員     | 戦後日本外交、日米同盟（日米安保体制）に関する歴史的知見の収集、整理                                                   |

|                                       |                    |                        |                                                                                        |
|---------------------------------------|--------------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
|                                       |                    |                        | および調査・研究、発信等                                                                           |
| <b>サブユニット「戦後日本政治史検証プロジェクト」</b>        |                    |                        |                                                                                        |
| ユニット長                                 | 小宮 京               | 青山学院大学文学部教授            | 戦後日本の政治史に関する歴史的知見の収集、整理、及び調査・研究、発信等                                                    |
| 研究担当                                  | 竹内 桂               | 明治大学政治経済学部兼任講師         | 戦後日本の政治史に関する歴史的知見の収集、整理、及び調査・研究、発信等                                                    |
| 研究担当                                  | 佐藤 健太郎             | 千葉大学法政経学部准教授           | 戦後日本の政治史に関する歴史的知見の収集、整理、及び調査・研究、発信等                                                    |
| 研究担当                                  | 市川 周佑<br>(若手)      | 青山学院大学大学院文学研究科博士課程     | 戦後日本の政治史に関する歴史的知見の収集、整理、及び調査・研究、発信等                                                    |
| 研究担当                                  | 中澤 俊輔<br>(若手・地方在住) | 秋田大学教育文化学部准教授          | 戦後日本の政治史に関する歴史的知見の収集、整理、及び調査・研究、発信等                                                    |
| 研究担当                                  | 玉置 敦彦<br>(若手)      | 中央大学法学部准教授             | 戦後日本の政治史に関する歴史的知見の収集、整理、及び調査・研究、発信等                                                    |
| <b>研究会「東欧、中・東欧、バルカン諸国の自由・民主主義の帰趨」</b> |                    |                        |                                                                                        |
| 座長                                    | 東野 篤子<br>(女性・地方在住) | 筑波大学人文社会系教授            | ・研究会のとりまとめ、各研究会の調査研究に関する方向性のとりまとめ<br>・中・東欧・バルカン諸国のうち、とくにウクライナの国内政治状況や対外政策に関する調査・研究、発信等 |
| 研究担当                                  | 小森 宏美<br>(女性)      | 早稲田大学教育・総合科学学術院教授      | 旧ソ連、バルト諸国に関する調査・研究、発信等                                                                 |
| 研究担当                                  | 山本 直               | 日本大学法学部教授              | ハンガリーや東欧諸国に関する調査・研究、発信等                                                                |
| 研究担当                                  | 合六 強<br>(若手)       | 二松学舎大学国際政治経済学部准教授      | 欧州情勢に関する調査・研究、発信等                                                                      |
| 研究担当                                  | 保坂 三四郎<br>(国外在住)   | エストニア国際防衛安全保障センター研究員   | ロシアやバルト三国に関する調査・研究、発信等                                                                 |
| 幹事                                    | 西山 美久<br>(若手)      | 東京大学先端科学技術研究センター特任助教   | ロシアに関する調査・研究、発信等                                                                       |
| 研究担当                                  | 国末 憲人              | 東京大学先端科学技術研究センター特任教授   | 欧州情勢に関する調査・研究、発信等                                                                      |
| 研究担当                                  | 服部 倫卓<br>(地方在住)    | 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授 | ロシアと中・東欧・バルカン諸国に関する調査・研究、発信等                                                           |
| 研究担当                                  | 中井 遼<br>(若手)       | 東京大学先端科学技術研究センター教授     | 中・東欧・バルカン諸国のうち、とくに同地域の民主主義の状況に関する調査・研究、発信等                                             |



| 研究会「自由・民主主義分析の実証的方法と応用」 |                    |                                   |                                                                                      |
|-------------------------|--------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 座長                      | 待鳥 聡史<br>(地方在住)    | 京都大学大学院法学研究<br>科教授                | ・研究会のとりまとめ、各<br>研究会の調査研究に関する<br>方向性の取りまとめ<br>・実証政治学の観点から<br>民主主義の制度を分析、<br>調査・研究、発信等 |
| 研究担当                    | 大村 華子<br>(女性・地方在住) | 京都大学大学院法学研究<br>科教授                | 計量政治分析から民主<br>主義の制度を調査・研究、<br>発信等                                                    |
| 研究担当                    | 大村 啓喬<br>(地方在住)    | 滋賀大学経済学部准教授                       | 「旗下集結効果」などの<br>危機時の有権者の行動に<br>関する調査・研究、発信等                                           |
| 研究担当                    | 彦谷 貴子<br>(女性)      | 学習院大学国際センター<br>教授                 | 政軍関係に関する調査・<br>研究、発信等                                                                |
| 研究担当                    | 山田 真裕<br>(地方在住)    | 関西学院大学法学部教授                       | 実証政治学の観点から民主<br>主義の制度、とくに選挙<br>行動を分析、調査・研究、<br>発信等                                   |
| 研究担当                    | 外山 文子<br>(女性・地方在住) | 筑波大学人文社会系准教<br>授                  | 実証政治学の観点からタイ<br>をはじめとした東南アジア<br>諸国における民主主義<br>を分析、調査・研究、発信<br>等                      |
| 同サブユニット「民主主義体制の多面的検証」   |                    |                                   |                                                                                      |
| 研究担当                    | 大庭 三枝<br>(女性)      | 神奈川大学法学部教授                        | ミャンマーを中心にした民主<br>主義の分析、調査・研<br>究、信等                                                  |
| 研究担当                    | 竹中 治堅              | 政策研究大学院大学教授                       | 民主主義の多面性に関する<br>分析、調査・研究、発信<br>等                                                     |
| 研究会「言説空間分析の文理横断的方法と応用」  |                    |                                   |                                                                                      |
| 座長                      | 小泉 悠<br>(若手)       | 東京大学先端科学技術研<br>究センター准教授           | 研究会のとりまとめ、各研<br>究会の調査研究に関する<br>方向性の取りまとめ                                             |
| 研究担当                    | 飯塚 恵子<br>(女性)      | 読売新聞編集委員                          | 情報操作と民主主義に関<br>する調査・研究、発信等                                                           |
| 研究担当                    | 桑原 響子<br>(若手・女性)   | 日本国際問題研究所研究<br>員                  | 言説空間の分析のうち、と<br>くに認知領域・情報安全保<br>障に関する調査・研究、発<br>信等                                   |
| 研究担当                    | 小宮山 功一朗            | 慶應義塾大学 SFC 研究<br>所上席所員            | サイバー安全保障に関す<br>る調査・研究、発信等                                                            |
| 研究担当                    | 高森 雅和<br>(若手)      | Japan Nexus Intelligence<br>代表取締役 | 最先端テクノロジーを用い<br>た SNS 分析等に関する調<br>査・研究、発信等                                           |
| 研究担当                    | 村野 将<br>(若手・国外在住)  | ハドソン研究所 研究員                       | 安全保障についての調<br>査・研究、発信等                                                               |
| 研究担当                    | 土屋 貴裕<br>(地方在住)    | 京都先端科学大学准教授                       | 先端科学技術に関する調<br>査・研究、発信等                                                              |
| 研究担当                    | 手塚 沙織<br>(女性・地方在住) | 南山大学准教授                           | 国際政治経済政策に関す<br>る調査・研究、発信等                                                            |
| 研究担当                    | 梅田 耕太<br>(地方在住)    | 国際文化会館 地経学研<br>究所 客員研究員           | 宇宙安全保障に関する調<br>査・研究、発信等                                                              |

|                           |                |                                     |                                         |
|---------------------------|----------------|-------------------------------------|-----------------------------------------|
| 研究担当                      | 三浦 秀之<br>(若手)  | 杏林大学 総合政策学部<br>准教授                  | 通商・産業政策に関する<br>調査・研究、発信等                |
| 研究担当                      | 奥田 将洋          | 国立研究開発法人科学技<br>術振興機構 研究開発戦<br>略センター | 原子力に関する調査・研<br>究、発信等                    |
| 研究担当                      | 齊藤 孝祐          | 上智大学教授                              | 科学技術政策に関する調<br>査・研究、発信等                 |
| 幹事                        | 小林 弘幸<br>(若手)  | 東京大学先端科学技術研<br>究センター特任研究員           | 核安全保障に関する調<br>査・研究、発信等                  |
| <b>サブユニット「世論調査プロジェクト」</b> |                |                                     |                                         |
| ユニット長                     | 合六 強<br>(若手)   | 二松學舎大学国際政治経<br>済学部准教授               | 欧州安全保障の観点から<br>の世論調査の実施・分析              |
| 研究担当                      | 飯田 健<br>(地方在住) | 同志社大学法学部教授                          | 世論調査研究の知見を活<br>かしての世論調査の実施・<br>分析       |
| サブユニット幹事                  | 鍛冶 一郎<br>(若手)  | 東京大学先端科学技術研<br>究センター特任研究員           | 日本外交、日米同盟の観<br>点からの世論調査の実<br>施・分析       |
| 研究担当                      | 中井 遼<br>(若手)   | 東京大学先端科学技術研<br>究センター教授              | 欧州における世論調査研<br>究の知見を活かしての世<br>論調査の実施・分析 |

|                  |                |
|------------------|----------------|
| 4－2 事業実施体制の定量的概要 |                |
| 研究者数合計           | 55 名           |
| うち若手（※）研究者数      | 21 名（全体の 38 %） |
| うち女性研究者数         | 12 名（全体の 22 %） |
| うち地方在住の研究者数      | 23 名（全体の 42 %） |